

平成 29 年度

事業報告書

《社会福祉法人ふたば会》

少子高齢化の進展と財政問題が深刻になる中、「持続可能性のある社会保障制度の構築」と「地域包括ケアシステムの深化」を目指して制度、政策が推し進められている。特に平成30年度介護報酬改定に向かって、具体的には、「負担能力に応じた公平な負担」、「給付の適正化」、そして、「我が事、丸ごと地域共生社会の実現」を念頭にその改定案が検討されている。

このような流れの中で、平成29年度は、社会福祉法改正による法人改革へ対応した。役員、評議員の再編を行うと共に、業務執行理事を置いてガバナンスの強化、経営の透明性の向上を図った。また、平成30年度の医療、介護の同時改正に円滑に対応できるよう情報収集を行い、事前対策に努めた。

特養ふたば荘においては、耐震診断を行い、1階部分については問題はなく、2階部分は補強の必要性があるとの診断結果だった。補強工事は平成30年度に実施する予定であるが、今年度延期していた施設の模様替え等は来年度以降順次実施する予定である。また、稼働率は下がったが、経費の削減や職員の補充が充分できなかったことから当期資金収支差額が増加し、建設積立金を積み増すことになった。そして、特養ふたばの森と一体的に給食をクックチル方式に変更するための準備を進め、先行して3月からその実施を始めた。

それから、成年後見センターの赤字支払資金残高については、特養から資金を同額繰り入れて当期末支払資金残高をゼロとして事業清算をした。

居宅介護支援事業については、人件費支出が減少したことにより当期資金収支差額がプラスと成り、前期末支払資金残高の赤字が半減した。

在宅介護支援センターにつきましては、事業活動を活性化し、船木、泉川地域との連携を強化した。特に泉川地域については、見守り・SOSネットワーク協議会の立ち上げから事務局として係わり、事業実施に重要な役割を担うようになった。

ふたばの森については、ショートステイを除いて収支状況は黒字となった。黒字の要因として稼働率上昇と職員の減員が挙げられるが、ショートステイは稼働率は上昇したが利用者要介護度が低下したため赤字となった。また、新たに新居浜市から「一般高齢者介護予防教室」を受託し、船木・泉川地区で延べ593人の参加者を対象に「元気もりもり教室」を開催して予防にも取り組んだが、内容の充実を図りながら継続実施したい。

1.施設の概要

法人の沿革

| | | | |
|-------|-----|-----|--|
| 昭和53年 | 8月 | 4日 | 社会福祉法人ふたば会設立 |
| 昭和54年 | 4月 | 5日 | 特別養護老人ホームふたば荘開設（定員50人） |
| 昭和57年 | 4月 | 1日 | 特別養護老人ホームふたば荘定員80人変更開所 |
| 平成9年 | 4月 | 1日 | デイサービスセンターふたば荘及び 在宅介護支援センターふたば荘事業開始 |
| 平成11年 | 10月 | 25日 | 居宅介護支援事業指定（3870500174） |
| 平成12年 | 1月 | 5日 | 訪問入浴介護事業指定（3870500232） |
| 平成12年 | 2月 | 25日 | 通所介護事業指定（3870500323） |
| 平成12年 | 3月 | 17日 | 短期入所生活介護事業指定（3870500505） |
| 平成12年 | 4月 | 1日 | 介護老人福祉施設指定（3870500570） |
| 平成19年 | 9月 | 30日 | 訪問入浴介護事業廃止 |
| 平成23年 | 4月 | 19日 | 特別養護老人ホームふたばの森設置認可 |
| 平成23年 | 4月 | 22日 | 特別養護老人ホームふたばの森指定（3890500238） |
| | | 〃 | グループホームふたばの森指定（3890500220） |
| 平成23年 | 4月 | 28日 | ショートステイふたばの森指定（3870502162） |
| | | 〃 | デイサービスセンターふたばの森指定（3870502154） |
| 平成23年 | 5月 | 1日 | ふたばの森各事業所事業開始 |
| 平成27年 | 5月 | 31日 | デイサービスセンターふたば荘事業休止 |

法人の土地・建物・定員

【所在地】 新居浜市船木字上原甲959番地1～4，962番地 985番地
974番地1 977番地1 980番地1，2，3

【敷地面積】 15,004.27㎡

| | |
|-----------------------|-----------|
| 《特別養護老人ホームふたば荘》 | (補助) |
| (建物構造) 鉄筋コンクリート造一部2階建 | 日本自転車振興会 |
| (建物面積) 1,999.68㎡ | 193,220千円 |
| (定員) 80人 | 新居浜市 |
| | 15,000千円 |

| | |
|------------------|------|
| 《デイサービスセンターふたば荘》 | (補助) |
| (建物構造) 鉄骨造平屋建 | 国庫補助 |
| (建物面積) 396.25㎡ | |

(定員) 35人 44,639千円
《在宅介護支援センターふたば荘》 県補助
(建物構造) 鉄骨造平屋建 22,319千円
(建物面積) 71.15㎡ 新居浜市
14,870千円

【所在地】 新居浜市船木字元船木甲3101番地1、甲3102番地2、
甲3098番地

【敷地面積】 4,552㎡

《特別養護老人ホームふたばの森》 (補助)
(建物構造) 鉄骨造2階建 新居浜市
(建物面積) 1,903.82㎡ 177,975千円
(定員) 29人

《ショートステイふたばの森》
(建物構造) 鉄骨造2階建
(建物面積) 496.44㎡
(定員) 16人

《デイサービスセンターふたばの森》
(建物構造) 鉄骨造2階建
(建物面積) 287.4㎡
(定員) 30人

【所在地】 新居浜市船木字元船木甲2999番地7、甲3001番地3

【敷地面積】 999.37㎡

《グループホームふたばの森》 (補助)
(建物構造) 鉄骨造2階建 新居浜市
(建物面積) 665.85㎡ 52,612千円
(定員) 18人

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所
デイサービスセンター
在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所

ふたば荘

特別養護老人ホームふたば荘

1. 総務及び経理

総合目標及び課題

- ・平成30年度介護報酬改定への情報収集・対応を行ったが、次年度以降の中長計画については、立案することが出来なかった。
- ・保守、修繕に関しては計画的に行えた。今後は、耐震診断の結果2階部分の補強工事を踏まえて、大規模改修等を検討が必要となった。

| 目標及び課題 | 成果等 |
|----------------|--|
| (1) 事務処理の効率化 | ① 労務関係の事務手続きについては、適時行った。 ② 消耗品・備品等の発注業務については、適時行えた。 |
| (2) 予算管理の適切な執行 | ① 中長期的な経営計画は、計画立案することが出来なかった。 ② 居室クロス・特養建屋の屋根美装については、実施しなかった。また、送迎車両は、法人内で車両配置の見直しを行った結果、更新は不要となった。 |
| (3) 労働衛生の充実 | ① ストレスチェックを実施し、高ストレス者については、産業医から健康アドバイスを実施した。 ② 有給休暇を各自年間5日以上取得することを促した結果、取得率は向上した。 |
| (4) 職員の定着・処遇改善 | ① 業務改善などの取り組みを実施したが、事業所全体への波及効果が少なかった。次年度以降、取り組み方法の工夫が必要となった。 ② 研修プログラムに沿って研修を行った結果、職員全体のスキルアップに繋がったが、まだまだ不十分であるので引き続き取り組みが必要となった。 ③ 介護職員処遇改善について、計画とおり実施した。 |
| (5) 特定個人情報の取扱 | ① マイナンバー関連の書類管理については、適切に取り扱うことが出来た。 |
| (6) 防災・防犯対策 | ① 防災関連の訓練について、計画とおり実施した。 ② 防犯訓練について、計画とおり実施した。 ③ マニュアルの見直しについては、不十分であった。 |

2. 相談及び援助

総合目標及び課題

利用者がその人らしい生活を送れるよう、多職種や家族・地域と連携・協働してサービスが提供できるよう努めた。

| 目標及び課題 | 成果等 |
|------------------------------|---|
| (1) 特養入所の稼働率の維持・向上のための取り組み | ① 稼働率95.1%(76.1人/日)と目標値(96.5%)を大きく下回った。要因として、退所から新規入所までの日数が要したため、今後、新規入所者の確保が課題となった。 |
| (2) 入退所の迅速な支援と対応 | ① 入所判定委員会を、3ヶ月に一度行った。また、待機者が不足した場合は、臨時入所判定委員会を行い随時対応を行った。 ② 介護職・看護職と協同で入所者の状態把握に努め、随時、カンファレンスにて支援方法を協議した。 ③ 要介護軽減による退所について、ご本人の意向を確認し、各関係機関との連携を図り退所支援を行った。 |
| (3) 看取り介護への積極的な取り組み | ① 入所時に、将来に備え看取りについて、看取り指針に基づき説明を行った。 ② 利用者・家族の意向に沿って、施設内での看取りを行うことが出来た。 ③ 終末期を迎えた入所者の家族には、随時状況説明を行い、また、臨終の際は立ち会うことが出来るように支援を行った。 |
| (4) 短期入所生活介護の稼働率の維持・向上への取り組み | ① 平均利用者4.8人と目標値を下回った。要因として、1月度にインフルエンザ流行にて利用制限を行ったこと、また、利用者確保が十分に行えなかったことが影響した。 ② 利用中の様子について、家族・介護支援専門員に報告を行った。満足度については、調査出来なかった。 ③ 特養空床状況の把握は出来たが、新規利用の受入などには結びつけられなかった。 |
| (5) 特養申込者・短期入所利用者増加への取り組み | 毎月1度居宅介護支援事業所に訪問し利用者の近況など資料を交え説明を行った。しかし、積極的な広報活動は行えなかった。 |

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>(6) 苦情・相談受付</p> | <p>① 相談しやすいよう新たな環境づくりは行えなかった。</p> <p>② 相談・苦情があった際は、速やかに事実確認を行い、経緯の説明を行えた。</p> <p>③ 相談・苦情対応は、事実確認後速やかに対応方法を検討し改善に努めた。</p> <p>④ 第三者委員を交えた苦情相談懇談会を6月に開催し、外部からの評価・意見を取り入れサービス向上に努めた。</p> |
| <p>(7) 事故発生時の対応</p> | <p>① 事故発生時は、状況確認を行い速やかに家族に報告を行った。</p> <p>② 事故時に病院受診が必要と判断した場合は、家族と相談したうえで対応を行った。</p> |
| <p>(8) 社会資源を活用したボランティアの受け入れ</p> | <p>① 多くのボランティアを受け入れることにより、利用者のQOL向上に繋げることが出来た。</p> <p>② ボランティア活動における有用な支援・情報提供は行えなかった。また、ふたばクラブ21については、組織としての活動は今年度限りとなり次年度からは個人ボランティアとしての活動となるで、情報提供体制など今後の課題となった。</p> |
| <p>(9) 利用者・家族・施設間の円滑な支援と調整</p> | <p>① 利用者の要望実現のため、家族など連絡調整を行い支援を行った。しかし、まだまだ不十分なところもあり今後の課題となった。</p> <p>② 利用者の状態把握については、他職種の協力の下行い家族への連絡を行った。</p> <p>③ 家族会については、6月・3月の2回開催し、現状の報告・平成30年度介護報酬改定などの説明を行った。</p> <p>④ 家族からの意見・要望については、サービス向上に繋がるよう取り組みを行ったが、十分には行えなかった。</p> |

3. 介 護

総合目標及び課題

- ・各種研修や学習会に参加することで、個人のスキルを高めることに努めた。
- ・安心と満足を実感していただけるようお一人お一人の状況確認に努めた。
- ・個々のニーズに沿った個別行事・外出などを実施した。少しでも楽しみのある施設生活を送って頂ける様に多職種で対応した。

| 目標及び課題 | 成果等 |
|--|--|
| <p>(1) 個別ケアの充実</p> <p>(2) 統一したサービス支援の提供</p> <p>(3) 楽しみに向けての取り組み</p> <p>(4) 接遇の共通認識</p> | <p>カンファレンスには、ご家族に参加をしていただき、利用者と家族からの要望を基に計画するように努め、具体的なプラン策定に取り組めた。</p> <p>① 勤務番交代時は、引継記録を活用し情報伝達に努めた。しかし、十分な引き継ぎが出来ていない事もあり、今後も課題となった。</p> <p>② 利用者の状況を見ながら、部署会にて個別の対応について具体的内容を検討し実施した。体位交換など統一した処遇が必要な場合は、写真などを活用し情報共有に努め、褥瘡など皮膚トラブルが改善された。</p> <p>③ 入浴については、週2回以外にも必要に応じて個別対応を行えた。</p> <p>季節行事は、体調の落ち着いた利用者が全員参加出来る様に計画した。また、個別の行事として買い物や好きな食べ物の外食希望のある人は月2回を限度として外出を支援した。</p> <p>希望される利用者には、ヘアカラーやマニキュアなどを個別に実施した。また、おやつやパンの訪問販売時には、健康管理上問題のない範囲内で購入のお手伝いをした。</p> <p>多い人数での外出が難しい利用者にはグループ単位など少人数で、お花見や外気浴に出かけた。</p> <p>利用者、ご家族、来荘者、職員同士など、笑顔で挨拶し対応していくように啓発活動を実施したが、中には出来ない職員もいた。今後も継続して、「笑顔で挨拶」を職員全員が出来る様に啓発活動を計画していく。</p> <p>利用者と職員という間の接遇は、研修を通して見直す機会をもつ事を今後も継続していく。</p> |

・すみれグループ

| | |
|---|--|
| <p>「利用者本位の立場で、本人の声を聞きながら希望に添えるよう支援します。」をスローガンとし、次のことに取り組んだ。</p> | <p>① 個々のニーズを把握しケアプランに反映する事ができたが、継続する事が出来なかった。</p> <p>② 業務に追われている時など、要望に対し速やかに対応出来なかったり、笑顔で対応出来なかった時があった。</p> |
|---|--|

| | |
|--|---|
| | <p>③ 個別での外出行事は毎月計画を立て実施した。しかし、おやつ作りはあまり実施出来なかった。</p> <p>④ 居室内の環境整備について、十分に行えなかった。衣類が出たままであったり、洗面台が汚れていることもあった。</p> <p>⑤ トイレでの排泄や離床等継続して身体レベルの維持向上には努めたが、ケアプランの実施は十分に行えなかった。</p> |
|--|---|

・たんぽぽグループ

| | |
|---|--|
| <p>スローガンを『個々の能力の維持・向上・思いを汲み取り、より良い生活を送れるよう支援します』とし取り組みを行った。</p> | <p>① 利用者に寄り添い、話を傾聴する時間を持つように心掛けた。言葉で伝えられない利用者も、日々の表情から思いを感じ取れる様な取り組みを行った。カンファレンス前には、担当職員以外のグループ職員からも情報を集め、カンファレンスにて話し合いの場を持ち、本人の思いに添って生活して頂けるようなケアプランを作る事ができた。</p> <p>ケアプランの中で、特に外出のプランに関しては、職員の人数がうまく確保する事が出来ず思うように実施が出来なかった。</p> <p>② 個々のケアプランの実施状況で思うように実施が出来ていない事・取り組み方の統一・気付きなど、担当職員を中心とし月に1回の部署会にて話し合いを持つ時間を作った。部署会に思うように人数が集まらず実施出来ない月もあったが、意見を出し合うことで新たな気付きや統一したケアを行う事に繋げる事は出来た。</p> <p>③ 内部学習会以外にも、出張で研修に参加した職員の報告書を読んだり、報告会にて知識を得る事は出来た。個々での実践になるような議題が多く評価は難しいが、計画書に具体的な内容として上げる事により意識し新しい知識を得ようとする意識の向上には繋げる事が出来た。</p> <p>④ 日々の状態を細かく観察し、気付きがあった際には、ケース記録及び総合記録シートの概要欄に記載した。多職種と情報を共有・連携する事で、異常の早期発見に努めた。</p> <p>⑤ 日中は、出来る限り離床を促した。リビングにて過ごして頂き、使節行事などへの参加も勧めた。生活のめりはりをつけ夜間の良眠に繋げる事が出来た。</p> |
|---|--|

・ひまわりグループ

| | |
|---|--|
| <p>「利用者一人ひとりがその人らしく生活出来るよう支援します。」をスローガンとし、次のことを具体的に取り組んだ。</p> | <p>① 個々の意向に添った環境作りを行った。週1回ベッ ットメイキングなど実施したが、整理整頓は出来て いないこともあった。</p> <p>② 引き継ぎ記録やメモを活用しながら、グループ内 でしっかりとした共通認識を持ち、場合によって は職員間で話し合いながら情報の共有を図った。</p> <p>③ ケアプランをしっかりと把握した上で、その人に 合った援助やケアを実施する事が出来た。</p> <p>④ 短時間離床を含め、極力離床出来る方は離床して もらい、昼食はリビングで摂って頂いたり、施設行 事の参加や個別支援（外出支援）など実施する事が 出来た。しかし、個別行事としての外出支援は一部 の方の実施になった。</p> <p>⑤ 普段の利用者との関わりを持ちながら、出来る事 と出来ない事を把握した上で、ケアプランに取り組 み、利用者の潜在能力を引き出す様に努めた。</p> <p>⑥ 利用者一人ひとりの日常の様子を観察しながら、 異変や異常の早期発見に努め、他職種との連携を図 った。</p> <p>⑦ ご家族が面会に来られた際には、状況説明をしよ り良い人間関係の構築に努めた。</p> |
|---|--|

4. 厨房

総合目標及び課題

- ・利用者が、健康で安定した生活が送れるよう、適切で安全な食事の提供に努めた。
- ・食べることの楽しみと満足をしていただける、美味しい食事の提供に努めた。

| 目標及び課題 | 成果等 |
|----------------------------------|---|
| <p>(1) 栄養ケアの実践</p> | <p>個々のニーズに応じた栄養ケアプランを実践し、 栄養状態が向上することにより、健康状態が安定し、 日々の生活を維持することができた。反面、高齢の ため消化、吸収機能が低下し、栄養状態が上がらず 体調に変化をきたす等の課題もあり、今後もより細 やかな栄養ケアプランを実践することが課題となっ た。</p> |
| <p>(2) 摂食、嚥下機能に応じた 食事の提供</p> | <p>摂食、嚥下機能はできる限り維持できるよう口腔 ケアを実施しているが、体調の変化や、口腔機能の 低下など、誤嚥のリスクも高くなるため、個々にあ った食形態で、安全で無理なく摂取できる食事の提</p> |

| | |
|--|--|
| <p>(3) 楽しみのあるおいしい食事の提供</p> <p>(4) 安全な食事の提供</p> | <p>供を行った。</p> <p>毎月の楽しみである行事食や旬の新鮮な食材を使い、味にこだわった手作りの食事、肉料理や魚料理等が選択できる食事の提供を行った。</p> <p>食材の温度管理や衛生的な取り扱いに留意し、食中毒などを起こさないよう徹底した。</p> |
|--|--|

5. 機能訓練

総合目標及び課題

- ・利用者の心身の諸機能の維持回復を図るため、各々個別訓練計画書を作成し、その計画に基づき各専門職との協働により実践に努めた。
- ・利用者の重度化に伴い、入院されたり、体調を崩される方も多く、継続して一環したリハビリの訓練が難しくなっている。
- ・科学的介護実践に基づき利用者の自立支援のため実践に努めた。特に歩行訓練については、平行棒内歩行から歩行器による歩行訓練に変更して実施した。
- ・今年度は、介護予防教室として、船木地区、泉川地区の地域に出向き、高齢者の運動について関わりをもった。

| 目標及び課題 | 成果等 |
|---|--|
| <p>(1) 生活リハビリの充実</p> <p>(2) 「活動」「参加」の要素を取り入れたアプローチの実践及び、医療機関の連携を図る。</p> | <p>① 利用者全員の心身の定期定な評価を実施し、ケアプラン策定時に心身の状況から具体的協働内容の提示を実施しており、今年からアセスメントの変更に伴って身体機能の評価、認知機能の評価を実施した。</p> <p>② 個別機能訓練実施後の中間報告として、3ヶ月ごとに利用者及び家族に対し口頭又は書面（郵送）で説明の実施をしており、その際は、施設ケアマネにも状況の確認を行い、協働を働きかけることを継続して実施した。</p> <p>③ 重点的な医学的リハビリに関しては、かかりつけ医（主治医）の指導管理の下リハビリテーションを実施しするため受診に同行した。具体的な注意点などの指導を受けられたため、今後も継続したい。</p> <p>本年度も毎月1名程度の利用者に対し、外出行為（買い物・外食、社会参加など）を継続しながら利用者の望むニーズに対応していき、参加した利用者からは好評で喜ばれたが、特定の利用者になってしまった。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>(3) 福祉用具の活用において適正評価及び安全に使用されているか確認を行い故障時には速やかに対応</p> <p>(4) 身体拘束者に対し、身体拘束解除に向けて、委員会との連携、身体的、精神的弊害の除去に図る。</p> | <p>福祉用具の活用については、カンファレンスで検討し、ケアプランに反映させていったが、個人の所有物管理は不十分と認識。また、福祉用具の修理費用については、事故防止委員会の中で報告し安全に使用し、無駄な軽費の削減に取り組んでいったが、介護職員の中に浸透にせず不十分であった。</p> <p>現在、身体拘束3名のミトン使用者に対し、リハビリの視点から解除、または、弊害の除去に努めた。結果2名は拘束時間帯の削減が可能になったが、全面解除には課題が残った。今後も、入所時から身体拘束されている方が入所されると予想されるため、委員会を通して活動が必要と認識。</p> |
|---|--|

6. 健康管理

総合目標及び課題

- ・利用者の疾病を理解し、安心出来る居心地の良い場所を提供し、安心して満足な生活が送れるよう嘱託医と連携し、健康状態の維持や悪化予防に努めた。また、急変時は、ご家族の意向に添って専門医に受診し、早期治療に努めた。
- ・看取りにおいては、住み慣れた施設で最期を迎えたいと思う利用者やその家族の思いと、最期までその人らしい暮らしを支え、看取りたいと願う職員の思いを大切にしながら利用者一人ひとりの尊厳を守り、他部署の協力を得てに命に向き合い穏やかな最期を看取れるよう努めた。

| 目標及び課題 | 成果等 |
|-----------------|---|
| (1) 日常生活の健康管理 | <p>① 年2回の健康診断、年1回の胸部レントゲン検査にて異常の早期発見や悪化防止に努めた。</p> <p>② 利用者や家族の希望により専門医受診に対応し、早期治療に努めた。</p> |
| (2) 他職種との連携 | <p>朝礼にて利用者の夜間の状況把握に努め、日中の介護職員よりの速やかな状態報告を得て、状態の悪化を予測し、早期対応に努めた。</p> |
| (3) 薬剤・投薬の適切な管理 | <p>服薬管理マニュアルの訂正を行い、誤薬予防、誤薬時の早期対処に努めた。</p> |
| (4) 職員への医療教育 | <p>感染、褥瘡、看取り、緊急時の対応についての内部研修を実施し、職員のスキルアップに努めた。</p> |

7. 職員研修参加状況(ふたば荘)

| 月 | 日 | 内容 | 場所 | 出席者 |
|----|-------|--|-----|-----------------------------|
| 4 | 14 | 第1回東予老施協施設長研修会・総会 | 土居 | 施設長1名 |
| | 28 | 第1回総会及び施設長研修会 | 松山 | 施設長1名 |
| 5 | 8 | 福祉・介護関係事業所合同入職式 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 10 | 介護支援専門員研修 | 松山 | 介護主任1名 |
| | 16～17 | 第13回愛媛県老人福祉施設大会 | 松山 | 施設長1名、介護職員1名、看護職員1名 |
| 6 | 6 | 県老施協ポジショニング研修会 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 13 | 「福祉の職場」新任職員研修 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 26 | 東予老施協新任職員研修会 | 湯ノ浦 | 介護職員1名 |
| | 26 | 福祉施設協議会第1回職員スキルアップ講座 | 市内 | 介護職員1名 |
| | 29～30 | 第66回四国老人福祉施設関係者研究大会 | 松山 | 施設長1名、主任相談員1名、介護職員1名、看護職員1名 |
| 7 | 10 | 介護職員技術向上講習会第1回「姿勢～起居動作・ベッド上での移動～」 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 11 | 介護職員技術向上講習会第2回「姿勢～車イス等の移動・移乗～(自立支援)」 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 11 | 第1回サービス向上研修会「相談・コミュニケーション技法」 | 松山 | 相談員1名 |
| | 13 | 「福祉の職場」中堅職員研修 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 31 | 介護職員技術向上講習会第3回「姿勢～車イス等の移動・移乗～(持ち上げない介助)」 | 松山 | 介護職員1名 |
| 8 | 8 | 第2回サービス向上研修会「介護記録の作成」 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 10 | 直営支援型食事提供セミナー | 松山 | 総務副部長1名 |
| | 22 | リフレ介護セミナー | 松山 | 介護職員1名 |
| | 31 | 東予老施協事務職員研修 | 土居 | 事務員1名 |
| 9 | 12 | 東予老施協生活相談員研修 | 湯ノ浦 | 相談員1名 |
| | 13 | 介護職員技術向上講習会第5回「睡眠・身支度・清潔」 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 15 | 防災に関する研究・研修会 | 松山 | 施設長1名 |
| | 21 | 東予老施協介護職員研修会 | 土居 | 介護職員2名 |
| | 22 | 服薬管理研修会 | 松山 | 看護職員1名、介護職員1名 |
| | 27 | 東予老施協デイサービス管理者研修会 | 土居 | 介護職員1名 |
| 10 | 11 | 就労環境整備セミナー | 松山 | 総務副部長1名、主任事務員1名 |
| | 12 | 第65回愛媛県社会福祉大会 | 松山 | 施設長1名 |
| | 20 | 東予老施協施設長と防災担当職員等との合同研修 | 今治 | 施設長1名、総務副部長1名、主任事務員1名 |
| 11 | 2 | 東予老施協介護支援専門員研修会 | 湯ノ浦 | 介護主任1名 |
| | 20 | 東予老施協「第2回介護職員研修会」 | 今治 | 介護職員1名 |
| | 28 | 施設ケアマネジメント研修 | 松山 | 介護主任1名 |
| | 29 | 第2回職員スキルアップ講座 | 市内 | 介護主任1名 |
| 12 | 5 | 東予老施協調理員研修会 | 市内 | 調理員1名 |
| | 15 | 第5回サービス向上研修会 | 松山 | 相談員1名 |
| | 15 | 看取りに関する研修 | 市内 | 施設長1名、看護職員1名、介護職員1名 |
| 1 | 17 | 東予老施協看護職員等研修会 | 土居 | 看護職員1名 |
| | 18 | 介護職員技術向上講習会・認知症介護上級コース | 松山 | 介護職員1名 |
| 2 | 5～6 | 第16回四国老施協セミナー | 高知 | 施設長1名 |
| 3 | 17 | 介護報酬改定決起セミナー | 松山 | 総務副部長1名 |

8. 事業実施状況

| 月 | 保 健 衛 生 | 施 設 管 理 | 施 設 整 備 等 | 職 員 厚 生 | そ の 他 |
|----|--|--|-----------------|-------------------------------------|---|
| 4 | /28 調理員検便(10名) | /5 奉仕デー /15 暖房停止 /27 倉庫整理 | | /14 お花見【歓送迎会】(39名) | |
| 5 | /31 調理員検便(10名) /11 寝具納品 /18 寝具引取 /26 諸君検便(64名) | /2 奉仕デー | /2 進入路ガードパイプ・外構 | | /9 避難訓練 /10 はあとねっと発行 |
| 6 | /30 調理員検便(10名) /1~30 職員健康診断(57名) | /14 空調設備清掃点検 /7 奉仕デー /7 全館ワックスがけ /15 冷房開始 /13 消防設備点検 | | | /21 内部学習会 |
| 7 | /31 調理員検便(10名) | /5 奉仕デー | | /21 ビール会(41名) | /10 はあとねっと発行 /27 内部学習会 |
| 8 | /31 調理員検便(10名) | /2 奉仕デー /1 受水槽立ち入り検査 | | | /2~3 新居浜ワークキャンプ(5名) /15 船木夏祭り |
| 9 | /19 結核健診レントゲン撮影(75名) /16 寝具納品 /21 寝具引取 /30 調理員検便(10名) | /6 奉仕デー /20 全館ワックスがけ /15 冷房停止 | | | /8 はあとねっと発行 |
| 10 | /31 調理員検便(10名) | /4 奉仕デー | | | /24 内部学習会 |
| 11 | /15~30 職員健康診断(22名) /4 インフルエンザ予防接種(職員54名入居者67名) /6 入居者健康診断(75名) /30 調理員検便(10名) | /8 奉仕デー /18 受水槽清掃 /15 暖房開始 /15 浄化槽清掃 /25 電気設備年次点検 | | | /10 はあとねっと発行 /24 総合避難訓練 /21 内部学習会 |
| 12 | /29 調理員検便(10名) | /13 奉仕デー /6 全館ワックスがけ | | /20 忘年会(38名) 永年勤続者表彰 (10年);3名 | /19 内部学習会 |
| 1 | /31 調理員検便(10名) | /22 消防設備点検 | /31 業務用乾燥機更新 | | /10 はあとねっと発行 /24 内部学習会 |
| 2 | /28 調理員検便(10名) | /7 奉仕デー | | | /22 内部学習会 |
| 3 | /30 調理員検便(10名) | /7 奉仕デー /14 全館ワックスがけ | /20 耐震診断実施結果報告 | | /9 はあとねっと発行 /22 内部学習会 |

9.特養利用者の概要

(1)利用者の状況

平成30年3月31日現在

保険者別入所状況

| 保険者別 | 男 | 女 | 計 |
|-------|----|----|----|
| 新居浜市 | 16 | 54 | 70 |
| 西条市 | 2 | 0 | 2 |
| 四国中央市 | 1 | 3 | 4 |
| 今治市 | 0 | 1 | 1 |
| 松山市 | 0 | 1 | 1 |
| 宇和島市 | 0 | 1 | 1 |
| 大阪市 | 0 | 1 | 1 |
| 合計 | 19 | 61 | 80 |

在所期間の状況

| 期 間 | 男 | 女 | 計 | 比率(%) |
|-------------|----|----|----|--------|
| 20年以上 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 15年以上～20年未満 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 10年以上～15年未満 | 0 | 3 | 3 | 3.8% |
| 7年以上～10年未満 | 0 | 5 | 5 | 6.3% |
| 5年以上～7年未満 | 3 | 7 | 10 | 12.5% |
| 3年以上～5年未満 | 3 | 14 | 17 | 21.2% |
| 1年以上～3年未満 | 6 | 16 | 22 | 27.5% |
| 1年未満 | 7 | 16 | 23 | 28.7% |
| 合 計 | 19 | 61 | 80 | 100.0% |

利用期間が3年未満の方で全体の56.2%を占め、全利用者の平均利用期間は2.8年となっている。

年齢構成

| 区分 | ～64 | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～84 | 85～89 | 90～94 | 95～ | 合計 | 平均年齢 |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----|------|
| 男 | 3 | 3 | 0 | 2 | 4 | 4 | 3 | 0 | 19 | 79.5 |
| 女 | 0 | 2 | 4 | 9 | 7 | 19 | 12 | 8 | 61 | 85.6 |
| 合計 | 3 | 5 | 4 | 11 | 11 | 23 | 15 | 8 | 80 | 84.0 |

①90歳以上の利用者は全体の28.8%を占めており、平均年齢は約84.2歳となっている。

②最高齢者は、男性94歳、女性104歳で、最も若い利用者は、男性61歳、女性68歳である。

要介護度の状況

〔要介護度〕

| | 自立 | 支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 合計 | 平均 |
|-------|----|----|---|---|----|----|----|----|------|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 8 | 6 | 19 | 4.00 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 27 | 23 | 61 | 4.20 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 1 | 15 | 35 | 29 | 80 | 4.15 |
| 前年度実績 | 0 | 0 | 0 | 3 | 19 | 33 | 25 | 80 | 4.00 |

利用者の要介護度は、5に認定された方が全体の36.3%を占めており、平均要介護度4.15となっており、前年度実績4.00から上がっている。

(2)入退所状況

利用者状況

〔月別新規入所者〕

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 男 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 | 8 |
| 女 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 | 18 |
| 計 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 | 1 | 4 | 3 | 5 | 4 | 26 |

〔入所前住居〕

| 区分 | 在宅 | 病院 | | | 介護施設 | | | その他施設 | 合計 |
|----|----|------|------|------|--------|--------|-----------|-------|----|
| | | 一般病棟 | 精神病棟 | 療養病棟 | 介護療養施設 | 老人保健施設 | 特別養護老人ホーム | | |
| 男 | 1 | 1 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 8 |
| 女 | 7 | 5 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 18 |
| 計 | 8 | 6 | 5 | 2 | 0 | 2 | 1 | 2 | 26 |

全利用者のうち69.2%の利用者の方が施設・病院等からの入所である。

退所者状況

〔月別退所者〕

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 男 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 11 |
| 女 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | 3 | 16 |
| 計 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 5 | 5 | 27 |

27名の方が退所となり、その内死亡退所24名・入院継続2名・転居1名となっている。

(3)日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

日常生活自立度（寝たきり度）

[利用者80名]

| | | |
|----------------|--|----|
| ランク J 生活自立 | 何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 | |
| | 1 交通機関等を利用して外出する。 | 0 |
| | 2 隣近所なら外出する。 | 0 |
| ランク A 準寝たきり | 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。 | |
| | 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 | 8 |
| | 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。 | 8 |
| ランク B 寝たきり | 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。 | |
| | 1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 | 16 |
| | 2 介助により車椅子に移乗する。 | 31 |
| ランク C 寝たきり | 一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。 | |
| | 1 自力で寝返りをうつ。 | 6 |
| | 2 自力では寝返りもうたない。 | 11 |

寝たきりに当てはまるランク B・Cの利用者の方で全体の80.0%を占め、重度化が認められる。前年度の60.0%から、重度化している。

認知症老人の日常生活自立度判定

[利用者80名]

| 項目 | 痴 呆 の 程 度 | |
|---------|--|----|
| 正 常 | 認知症の症状無し | 1 |
| ランク I | 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。 | 3 |
| ランク II | 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。 | |
| | a 家庭外で上記Ⅱの状態が見られる。 | 4 |
| | b 家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる。 | 10 |
| ランク III | 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。 | |
| | a 日中を中心として、上記Ⅲの状態が見られる。 | 21 |
| | b 夜間を中心として、上記Ⅲの状態が見られる。 | 18 |
| ランク IV | 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。 | 20 |
| ランク M | 著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする | 3 |

80名の内、ランクⅢ以上に位置づけされる利用者の方は77.5%となっている。

(4)ケアプラン実施状況

[ケアプラン：立案状況]

| 項目 | 自立支援 | 日常生活援助 | 離床 | 医療面 | 運動 | 褥瘡 ハリスカ | 排泄 | 声かけコミュニケーション | 整容 | 転倒予防 |
|----|------|--------|----|-----|----|------------|----|--------------|----|------|
| 人数 | 13 | 13 | 11 | 10 | 9 | 8 | 6 | 5 | 3 | 2 |

①個々の内、最も重要と思われるもの各1を挙げている。

②個々のケアプランについては、包括的自立支援プログラム方式により6ヶ月毎及び状態に応じケアカンファレンスにて見直し、サービス計画に基づいて毎日実践しその状況を記録している。

(5)利用者医療状況

疾病状況

| 順 | 疾病名 | 人数 | 順 | 疾病名 | 人数 |
|----|-------------|----|----|----------|----|
| 1 | アルツハイマー型認知症 | 27 | 14 | 心筋梗塞 | 1 |
| 2 | 脳梗塞後遺症 | 13 | 15 | 狭心症 | 1 |
| 3 | 統合失調症 | 4 | 16 | 肺気腫 | 1 |
| 4 | 老人性精神病 | 4 | 17 | 拡張型心筋症 | 1 |
| 5 | 老年期認知症 | 3 | 18 | ピック病 | 1 |
| 6 | 脳出血 | 3 | 19 | 躁鬱病 | 1 |
| 7 | レビー小体型認知症 | 2 | 20 | 腎不全 | 1 |
| 8 | 脳血管性認知症 | 2 | 21 | 腰部脊柱管狭窄症 | 1 |
| 9 | パーキンソン症候群 | 2 | 22 | 頸部脊柱症 | 1 |
| 10 | 糖尿病 | 2 | 23 | 腎結石 | 1 |
| 11 | 変形性膝関節症 | 2 | 24 | 胸腰椎圧迫骨折 | 1 |
| 12 | 小児麻痺 | 2 | 25 | 先天性嚥嚥 | 1 |
| 13 | 慢性心不全 | 2 | | 合計 | 80 |

アルツハイマー型認知症など認知症の進行、脳梗塞後の機能低下により介護が必要となっている

受診状況

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | 月平均 | 1日平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|-----|-------|------|
| 実人数 | 15 | 8 | 12 | 10 | 11 | 13 | 13 | 8 | 15 | 8 | 10 | 9 | 132 | 6.1 | 0.2 |
| 延人数 | 17 | 12 | 14 | 11 | 14 | 14 | 16 | 10 | 18 | 8 | 14 | 12 | 160 | 100.3 | 3.3 |

家族の要望での医療機関受診は、積極的に行っている。

同じ方が、複数の病院を受診されることが複数あり受診が多くなっている。

但し急変による心疾患と頭部疾患、骨折等は、当施設で対応困難である為、医療機関での治療をお願いしている。

入院状況

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | 月平均 | 1日平均 入院人数 |
|------|-----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-------|-------|--------------|
| 実人数 | 10 | 6 | 4 | 6 | 5 | 7 | 7 | 5 | 8 | 9 | 4 | 2 | 73 | 6.1 | 0.2 |
| 延日数 | 121 | 120 | 64 | 80 | 91 | 116 | 125 | 114 | 124 | 184 | 49 | 16 | 1,204 | 100.3 | 3.3 |

状態の悪化により、本人や家族の希望で入院され、長期入院となることが多かった。

家族から終末を施設で迎えたいとの要望がある場合は、説明と同意を得てターミナルケアを実施している。

精神科往診

| 項目／月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | 月平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|------|
| 回数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 24 | 2.0 |
| 実人数 | 20 | 20 | 21 | 25 | 22 | 23 | 24 | 21 | 20 | 20 | 23 | 23 | 262 | 21.8 |
| 延人数 | 28 | 29 | 27 | 31 | 28 | 28 | 28 | 27 | 26 | 25 | 31 | 31 | 339 | 28.3 |

精神科医の往診が月2回あり、認知症で周辺症状がある場合は、診察を受けその診断を処遇に生かしている。

歯科往診

| 項目／月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | 月平均 |
|------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|-----|
| 回数 | 1 | 1 | 0 | 3 | 2 | 2 | 3 | 2 | 4 | 1 | 1 | 3 | 23 | 0.1 |
| 実人数 | 6 | 4 | 0 | 7 | 3 | 5 | 8 | 4 | 3 | 4 | 5 | 4 | 53 | 0.4 |
| 延人数 | 6 | 4 | 0 | 9 | 4 | 6 | 10 | 6 | 6 | 4 | 5 | 6 | 66 | 0.4 |

新規入所時・受診希望時、歯科医師の往診を受け、検診と口腔治療を主に行っている。

(6) 身体拘束実施状況

| 項目／月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 1. 車椅子拘束 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2. チューブ拘束 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3. つなぎ服拘束 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4. ミトン型手袋による拘束 | 28 | 57 | 32 | 32 | 31 | 49 | 31 | 30 | 31 | 21 | 56 | 130 | 528 |
| 延べ日数 | 28 | 57 | 32 | 32 | 31 | 49 | 31 | 30 | 31 | 21 | 56 | 130 | 130 |

身体拘束ゼロについては、施設全体で取り組んでおり、身体拘束防止委員会を設置し、利用者の身体拘束を個別に検討し、福祉用具の導入や現在行われている介護を見直し、よりよいケアの実現を目指すよう努力している。平成27年5月11日右脳出血にて病院搬送。治療後経口摂取困難で経鼻栄養のまま退院され抜管予防のためミトン手袋を使用継続中で、現在は経鼻栄養中のみミトン拘束実施。平成28年12月19日入所で脳梗塞後遺症で身体拘束されたまま入所された方は、誤嚥性肺炎で入院を繰り返今年2月14日病院で永眠。平成30年1月18日入所、病院から脳皮質下出血後遺症で24時間ミトン拘束実施で入所されたが、現在、朝の経鼻栄養中のみ実施。平成30年3月20日入所された、脳梗塞後遺症の方も病院から24時間ミトン拘束されており、現在も24時間実施で対応中。

(7) 機能訓練実施状況

個別機能訓練を行うにあたっては、ケアプランと連動しながら個別機能訓練計画に基づき機能訓練指導員、看護職員、介護職員、生活相談員、その他の職種の者が協働して計画的に実施している。また、機能回復訓練のひとつに、作業療法士が担当するリハビリテーションがあるが、これは医療行為であるために医師の情報提供書、又はリハビリ訓練の指示箋が必要なので、骨折などで入院し、退院後も当施設で継続して訓練が必要な時、又は、新規入所時においても、在宅のリハビリを継続して希望されるときは、かかりつけ医の情報提供書、又はリハビリ指示箋に基づいて実施している。そして、個別機能訓練実施内容については、中間(3月毎)に直接、又は郵送にて本人、家族の方に説明している。

〔個別訓練実施内容〕

| 項目／月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|-------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 運動療法 | 実人数 | 12 | 12 | 11 | 13 | 11 | 10 | 10 | 11 | 11 | 10 | 10 | 11 | 132 |
| | 延人数 | 55 | 61 | 51 | 66 | 60 | 57 | 35 | 50 | 55 | 27 | 56 | 55 | 628 |
| 歩行訓練 | 実人数 | 8 | 8 | 7 | 8 | 8 | 5 | 5 | 6 | 6 | 3 | 4 | 5 | 760 |
| | 延人数 | 33 | 31 | 28 | 31 | 29 | 21 | 19 | 27 | 25 | 8 | 18 | 15 | 285 |
| 物理療法 | 実人数 | 12 | 13 | 11 | 13 | 11 | 10 | 10 | 11 | 11 | 10 | 10 | 11 | 133 |
| | 延人数 | 57 | 62 | 50 | 65 | 58 | 55 | 35 | 50 | 56 | 27 | 56 | 55 | 418 |
| ADL訓練 | 実人数 | 14 | 14 | 12 | 15 | 14 | 12 | 10 | 11 | 11 | 10 | 11 | 13 | 147 |
| | 延人数 | 59 | 60 | 47 | 70 | 63 | 60 | 35 | 50 | 56 | 27 | 58 | 60 | 645 |

・訓練内容として

プラットホーム、ベッドサイドでの徒手的な運動療法、歩行訓練、物理療法、作業療法を実施している。尚、個別重視で、個別訓練の時間、ゆとりある対応で取り組んでいる。昨年からの取り組みとして、数は少ないが社会参加として外出、外食などのプログラムを追加した。

(8) グループケア実施状況

利用者のグループ編成（すみれグループ：28名 たんぽぽグループ：24名 ひまわりグループ：28名）は例年と変わりなく慣れた職員と穏やかに施設生活を送って頂き、利用者との多くの関わりを持つことで家庭的な雰囲気作りに努めた。

共通行事実施状況

| 実施日 | 行事内容 | 場 所 | グループ別 参加利用者数 | | | |
|-------|-----------|---------------|--------------|------|------|-----|
| | | | すみれ | たんぽぽ | ひまわり | 計 |
| 4/4 | お花見 | えひめ学園 | 1 | 8 | 10 | 19 |
| 5/30 | 春の遠足 | 市民の森（新居浜） | 0 | 2 | 9 | 11 |
| 6/4 | 和太鼓演奏会見物 | えひめ学園 | 2 | 2 | 5 | 9 |
| 7/3 | 七夕飾り | デイサービスセンター | 2 | 6 | 19 | 27 |
| 8/2 | ふたば荘夏祭り | ふたば荘中庭 | 13 | 18 | 22 | 53 |
| 8/15 | 船木校区盆踊り | 船木小学校 | 4 | 4 | 7 | 15 |
| 8/18 | お盆の法要 | デイサービスセンター | 8 | 14 | 20 | 42 |
| 9/10 | 敬老会 | デイサービスセンター | 9 | 18 | 16 | 43 |
| 9/29 | 観月会 | デイサービスセンター | 10 | 16 | 18 | 44 |
| 9/23 | 彼岸のお勤め | 観音室 | 2 | 15 | 0 | 17 |
| 10/16 | 太鼓台見物 | ふたば荘中庭 | 8 | 0 | 18 | 26 |
| 10/17 | 御神輿来荘 | ふたば荘中庭 | 8 | 13 | 0 | 21 |
| 10/27 | 運動会 | ふたば荘中庭 | 7 | 11 | 12 | 30 |
| 11/7 | 秋の遠足 | 池田の池公園 | 0 | 3 | 6 | 9 |
| 12/1 | アザレアコーラス | デイサービスセンター | 5 | 15 | 22 | 42 |
| 12/7 | 船木小学校児童来荘 | ひまわり・たんぽぽリビング | 3 | 13 | 16 | 32 |
| 12/19 | 忘年会 | デイサービスセンター | 8 | 19 | 24 | 51 |
| 12/25 | クリスマス会 | デイサービスセンター | 8 | 13 | 18 | 39 |
| 1/1 | 新年拝賀式 | デイサービスセンター | 9 | 14 | 19 | 42 |
| 1/15 | とうど祭り | ふたば荘中庭 | 5 | 0 | 13 | 18 |
| 2/10 | 賀寿のお祝い | デイサービスセンター | 2 | 9 | 14 | 25 |
| 3/21 | 彼岸のお勤め | 観音室 | 0 | 17 | 8 | 25 |
| 合 計 | | | 114 | 230 | 296 | 640 |

クラブ活動 実施状況

(習字クラブ)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| すみれ | 2 | 1 | 4 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 20 |
| たんぽぽ | 6 | 0 | 4 | 2 | 6 | 4 | 0 | 7 | 3 | 2 | 3 | 7 | 44 |
| ひまわり | 19 | 17 | 18 | 20 | 17 | 17 | 13 | 17 | 17 | 20 | 21 | 16 | 212 |
| 合計 | 27 | 18 | 26 | 24 | 25 | 23 | 14 | 26 | 20 | 24 | 26 | 23 | 276 |

(お茶会)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| すみれ | 2 | 3 | 2 | 6 | 6 | 4 | 6 | 5 | 3 | 1 | 8 | 5 | 51 |
| たんぽぽ | 14 | 13 | 13 | 10 | 11 | 10 | 0 | 9 | 14 | 0 | 10 | 13 | 117 |
| ひまわり | 19 | 18 | 18 | 17 | 18 | 16 | 16 | 19 | 20 | 17 | 19 | 20 | 217 |
| 合計 | 35 | 34 | 33 | 33 | 35 | 30 | 22 | 33 | 37 | 18 | 37 | 38 | 385 |

(ホーム茶屋)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| すみれ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| たんぽぽ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ひまわり | 18 | 21 | 17 | 19 | 18 | 19 | 19 | 17 | 20 | 21 | 21 | 18 | 228 |
| 合計 | 18 | 21 | 17 | 19 | 18 | 19 | 19 | 17 | 20 | 21 | 21 | 18 | 228 |

(どれみ広場)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| すみれ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| たんぽぽ | 17 | 16 | 18 | 16 | 20 | 15 | 16 | 17 | 19 | 0 | 15 | 15 | 184 |
| ひまわり | 15 | 20 | 17 | 18 | 17 | 20 | 21 | 17 | 21 | 24 | 24 | 24 | 238 |
| 合計 | 32 | 36 | 35 | 34 | 37 | 35 | 37 | 34 | 40 | 24 | 39 | 39 | 422 |

(カラオケ)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| すみれ | 1 | 1 | 1 | 6 | 3 | 2 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 19 |
| たんぽぽ | 8 | 7 | 12 | 10 | 13 | 12 | 4 | 4 | 0 | 0 | 11 | 0 | 81 |
| ひまわり | 13 | 10 | 12 | 22 | 20 | 9 | 18 | 9 | 0 | 19 | 20 | 22 | 174 |
| 合計 | 22 | 18 | 25 | 38 | 36 | 23 | 22 | 15 | 0 | 22 | 31 | 22 | 274 |

《すみれグループ》

(入浴実施状況： 2回/週)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 仰臥位入浴 | 139 | 161 | 156 | 162 | 179 | 180 | 143 | 132 | 166 | 117 | 163 | 195 | 1,893 |
| 座位入浴 | 25 | 29 | 32 | 12 | 9 | 9 | 19 | 24 | 26 | 10 | 16 | 18 | 229 |
| 自立補助入浴 | 30 | 34 | 33 | 24 | 26 | 18 | 16 | 16 | 18 | 12 | 15 | 18 | 260 |
| 自立入浴 | 0 | 2 | 3 | 7 | 9 | 14 | 9 | 8 | 7 | 6 | 6 | 9 | 80 |
| シャワー浴 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 11 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 29 |
| 合計 | 194 | 226 | 224 | 205 | 232 | 232 | 196 | 180 | 217 | 145 | 200 | 240 | 2,491 |

(行事・レク実施状況)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|-----|
| お誕生会 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 6 | 1 | 2 | 2 | 3 | 27 |
| 外出(ドライブ・外食含む) | 4 | 3 | 5 | 7 | 4 | 2 | 5 | 6 | 7 | 4 | 7 | 4 | 58 |
| 合計 | 7 | 5 | 6 | 8 | 6 | 4 | 7 | 12 | 8 | 6 | 9 | 7 | 85 |

《たんぽぽグループ》

(入浴実施状況：2回/週)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 仰臥位入浴 | 52 | 63 | 67 | 72 | 79 | 68 | 76 | 72 | 73 | 82 | 48 | 89 | 841 |
| 座位入浴 | 54 | 57 | 63 | 58 | 34 | 51 | 52 | 59 | 55 | 44 | 29 | 52 | 608 |
| 自立補助入浴 | 53 | 53 | 59 | 63 | 65 | 59 | 57 | 41 | 37 | 45 | 15 | 57 | 604 |
| 自立入浴 | 14 | 22 | 21 | 18 | 17 | 18 | 28 | 26 | 17 | 11 | 23 | 10 | 225 |
| シャワー浴 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 合計 | 173 | 195 | 210 | 212 | 200 | 199 | 213 | 198 | 182 | 182 | 115 | 208 | 2,287 |

(行事・レク実施状況)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|-----|
| ドライブ(外食を含む) | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| お誕生会 | 1 | 2 | 2 | 2 | 5 | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 3 | 26 |
| 合計 | 2 | 3 | 2 | 4 | 5 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | 1 | 3 | 32 |

《ひまわりグループ》

(入浴実施状況)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 仰臥位入浴 | 79 | 100 | 102 | 98 | 93 | 86 | 72 | 73 | 77 | 39 | 79 | 85 | 983 |
| 座位入浴 | 58 | 49 | 39 | 43 | 62 | 71 | 69 | 80 | 82 | 33 | 42 | 50 | 678 |
| 自立補助入浴 | 61 | 49 | 40 | 43 | 40 | 40 | 38 | 34 | 23 | 24 | 40 | 46 | 478 |
| 自立入浴 | 22 | 26 | 24 | 20 | 16 | 14 | 16 | 32 | 44 | 5 | 35 | 41 | 295 |
| シャワー浴 | 0 | 9 | 8 | 7 | 8 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 9 | 58 |
| 合計 | 220 | 233 | 213 | 211 | 219 | 220 | 195 | 219 | 226 | 101 | 204 | 231 | 2,492 |

(行事・レク実施状況)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|---------------------|---|---|----|---|---|----|----|----|----|---|---|---|-----|
| ドライブ(お買い物・外食・映画を含む) | 4 | 9 | 9 | 7 | 4 | 4 | 6 | 10 | 3 | 5 | 4 | 5 | 70 |
| お誕生会 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 6 | 0 | 1 | 5 | 2 | 5 | 2 | 25 |
| 合計 | 6 | 9 | 10 | 7 | 5 | 10 | 6 | 11 | 8 | 7 | 9 | 7 | 95 |

給食栄養状況

栄養ケアマネジメントの実施により、一人ひとりの栄養ケアプランが十分に実施されるよう、他職種協働で取り組みを行い、利用者の個別性に対応している。

栄養ケアマネジメント

| 月 | ケアマネジメント実施数 (人) | 低 リスク | 中 リスク | 高 リスク | リスク 未定 | 合 計 |
|-----|--------------------|----------|----------|----------|-----------|-----|
| 4月 | 78 | 22 | 44 | 12 | 2 | 80 |
| 5月 | 75 | 44 | 26 | 5 | 5 | 80 |
| 6月 | 79 | 46 | 29 | 4 | 1 | 80 |
| 7月 | 77 | 47 | 26 | 4 | 3 | 80 |
| 8月 | 77 | 45 | 30 | 2 | 3 | 80 |
| 9月 | 76 | 41 | 31 | 4 | 3 | 79 |
| 10月 | 71 | 45 | 23 | 3 | 6 | 77 |
| 11月 | 75 | 27 | 34 | 14 | 5 | 80 |
| 12月 | 74 | 44 | 22 | 8 | 5 | 79 |
| 1月 | 71 | 41 | 23 | 7 | 7 | 78 |
| 2月 | 75 | 41 | 27 | 7 | 2 | 77 |
| 3月 | 79 | 44 | 29 | 6 | 0 | 79 |
| 合 計 | 907 | 487 | 344 | 76 | 42 | |
| 月平均 | 75.6 | 40.6 | 28.7 | 6.3 | 3.5 | |

栄養ケアマネジメントによる一人ひとりへの細かいプランを立て実施しており、著しい改善には至っていないものの、現状維持できている方が多くみられた。

食事の状況

| | 主 食 | | | | | 副 食 | | | | |
|-----|-----|----|----|----|----|-----|----|------|----|----|
| | 普通 | 握食 | 粥食 | 流動 | 経管 | 普通 | 刻食 | ミキサー | 流動 | 経管 |
| 居 室 | 3 | 3 | 20 | 3 | 3 | 5 | 7 | 14 | 3 | 3 |
| 食 堂 | 17 | 8 | 22 | 0 | 1 | 24 | 19 | 4 | 0 | 1 |
| 合 計 | 20 | 11 | 42 | 3 | 4 | 29 | 26 | 18 | 3 | 4 |

食形態において主食に於ける普通食は全体の25%、副食に於ける普通食36.3%、刻食32.5%、ミキサー食22.5%、流動食3.7%、経管5.0%

行事食の献立状況

| 月 日 | 行 事 名 | 献 立 |
|-------|------------|---|
| 4/25 | 野外食 | 筍ご飯、鶏肉の香り揚げ、筍の土佐煮、筍のてんぷら、木の芽和え、若竹汁、フルーツポンチ |
| 5/19 | こぎり寿司バイキング | にぎり寿司、巻き寿司、いなり寿司、カキフライ、春雨の酢の物、清し汁、フルーツゼリー |
| 6/23 | 父の日バイキング | 鯛飯、魚の唐揚げ、みぞれ和え、冷やし茶碗蒸し、焼き鳥、フルーツ盛り合わせ |
| 7/7 | 七夕バイキング | しらす寿司、鰻の蒲焼き、なすの味噌田楽、たらいそうめん、酢の物、フルーツポンチ、 |
| 8/25 | 夏バテ解消バイキング | ひつまぶし、吹き寄せ、かに酢、じゃこてん、焼き鳥、トウモロコシ、フルーツ盛り合わせ |
| 9/10 | 敬老会祝い膳 | 巻き寿司、鯛の塩焼き、炊き合わせ、えびフライ、酢の物、メロン、清し汁 |
| 9/29 | 観月会 | いも炊き、栗ご飯、焼き鳥、酢の物、ぶどう |
| 10/13 | 長巻き寿司 | 巻き寿司、魚の唐揚げ梅あんかけ、筍とふきの煮物、清し汁、フルーツ |
| 11/17 | 紅葉バイキング | ちゃんちゃん焼き、ピース飯、酢の物、カボチャの煮物、じゃこてん、フルーツポンチ |
| 12/19 | 忘年会 | 鯛飯、刺身、カボチャのいとこ煮、酢の物、茶碗蒸し、フルーツゼリー |
| 1/1 | おせち料理 | 赤飯、ブリの照り焼き、紅白かまぼこ、伊達巻き、巻昆布、黒豆、きんとん、田作り、菊花かぶ、メロン、上生菓子、雑煮 |
| 1/19 | 新春バイキング | 巻き寿司、寄せ鍋、なます、糸昆布とさつまいもの煮物、フルーツゼリー |
| 2/10 | 賀寿の祝い | 五目寿司、鯛の塩焼き、吹き寄せ、えびフライ、酢の物、フルーツ盛り合わせ、清し汁 |
| 3/20 | こぎり寿司バイキング | にぎり寿司、巻き寿司、いなり寿司、えびフライ、おくらのごま和え、赤だし、フルーツゼリー |
| | | |
| | | |

① 1日：朔日メニュー ・ 祝日メニュー

② 選 択 食・・・・・・月～金（昼食に実施）

短期入所生活介護の利用状況

| | 人数 | 延日数 | 1日平均 |
|-------|------|-------|------|
| 4月 | 17 | 163 | 5.4 |
| 5月 | 15 | 138 | 4.5 |
| 6月 | 14 | 121 | 4.0 |
| 7月 | 13 | 126 | 4.1 |
| 8月 | 17 | 161 | 5.2 |
| 9月 | 18 | 170 | 5.7 |
| 10月 | 20 | 167 | 5.4 |
| 11月 | 15 | 160 | 5.3 |
| 12月 | 16 | 174 | 5.6 |
| 1月 | 14 | 130 | 4.2 |
| 2月 | 14 | 144 | 5.1 |
| 3月 | 10 | 114 | 3.7 |
| 合計 | 183 | 1,768 | |
| 月平均 | 15.3 | 147.3 | 4.83 |
| 前年度実績 | 200 | 1,771 | |
| 前年度比 | 92% | 100% | |

短期入所は定員4名であるが、1日平均4名を超えている月は入院者の空きベッドを利用して対応した。

社会福祉法人減免

| 項目 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 実人数 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 36 |

社会福祉法人減免として生活困難な利用者に対し、利用料の減免措置を行っている。

減免対象者の範囲

1. 老齢福祉年金受給者
2. 市町村が生活困難と認めた場
3. 対象年収が42万円以下の方

家族会の状況

| 実施日 | 参加家族数 | 参加人数 |
|------------|-------|------|
| 平成29年6月11日 | 22 | 29 |
| 平成30年3月25日 | 22 | 26 |

《平成29年度第1回目》

- ①平成28年度事業報告について
- ②平成29年度事業計画について
- ③グループケアへの取り組み状況報告
- ④平成28年度第2回家族会アンケート集計結果について

《平成29年度第2回目》

- ①平成29年度第1回アンケート結果について
- ②平成30年度介護報酬改定について
- ③預り金管理の変更について
- ④提供給食に係る調理の変更について

ボランティア活動実施状況

| 月日 | ボランティア名 | 人員 | 内 容 | 月日 | ボランティア名 | 人員 | 内 容 | |
|---------|------------|------|------------|---------|------------|---------|-------|-------|
| 4/4 | ふたばクラブ21 | 8 | お花見 | 10/10 | ふたばクラブ21 | 1 | お茶会 | |
| 4/7 | ふたばクラブ21 | 1 | 習字 | 10/20 | ボランティア愛 | 2 | 習字 | |
| | ボランティア愛 | 2 | | 10/20 | ふたば荘OB | 1 | | |
| 4/11 | ふたばクラブ21 | 1 | 5月人形 | 10/21 | ボーイスカウト新居浜 | 4 | 車椅子点検 | |
| | ボランティア愛 | 2 | | 10/25 | ふたばクラブ21 | 6 | お楽しみ会 | |
| 4/17 | ふたばクラブ21 | 1 | お茶会 | 10/27 | ふたばクラブ21 | 1 | 運動会 | |
| | ボランティア愛 | 2 | | 11/3 | ボランティア愛 | 3 | 習字 | |
| 4/22 | ボーイスカウト新居浜 | 5 | 車椅子点検 | 11/14 | ふたばクラブ21 | 1 | | お茶会 |
| 4/26 | ふたばクラブ21 | 6 | お楽しみ会 | 11/14 | ボランティア愛 | 2 | | |
| 5/10 | ふたばクラブ21 | 1 | 5月人形かたづけ | 11/17 | ふたばクラブ21 | 1 | 習字 | |
| | ボランティア愛 | 2 | | 11/17 | ボランティア愛 | 2 | | |
| 5/16 | ふたばクラブ21 | 1 | お茶会 | 11/22 | ふたば荘OB | 1 | お楽しみ会 | |
| | ボランティア愛 | 2 | | 11/25 | ボーイスカウト新居浜 | 3 | | 車椅子点検 |
| 5/20 | ボーイスカウト新居浜 | 3 | 車椅子点検 | 11/28 | ふたばクラブ21 | 1 | 習字 | |
| 5/24 | ふたばクラブ21 | 6 | お楽しみ会 | | 11/28 | ボランティア愛 | | 2 |
| 5/30 | ふたばクラブ21 | 6 | 春の遠足 | 12/8 | ふたば荘OB | 1 | 習字 | |
| 6/4 | ふたばクラブ21 | 7 | 学園和太鼓演奏会 | 12/8 | ふたばクラブ21 | 1 | | |
| 6/6 | ボランティア愛 | 2 | お茶会 | 12/12 | ボランティア愛 | 2 | お茶会 | |
| 6/9 | ボランティア愛 | 2 | 習字 | 12/12 | ボランティア愛 | 2 | | |
| 6/22 | ふたばクラブ21 | 7 | お楽しみ会 | 12/22 | ボランティア愛 | 2 | 習字 | |
| 6/23 | ふたばクラブ21 | 1 | 習字 | 12/22 | ふたば荘OB | 1 | | |
| | ボランティア愛 | 2 | | 1/18 | ふたばクラブ21 | 1 | とうど | |
| 6/24 | ボーイスカウト新居浜 | 5 | 車椅子点検 | 1/19 | ふたばクラブ21 | 1 | 習字 | |
| 6/28 | ふたばクラブ21 | 6 | お楽しみ会 | | 1/19 | ボランティア愛 | | 2 |
| 7/7 | ふたばクラブ21 | 1 | 習字 | 1/19 | ふたば荘OB | 1 | | |
| | ボランティア愛 | 2 | | 1/24 | ふたばクラブ21 | 4 | お楽しみ会 | |
| 7/18 | ふたばクラブ21 | 1 | お茶会 | 1/27 | ボーイスカウト新居浜 | 6 | 車椅子点検 | |
| | ボランティア愛 | 2 | | 2/2 | ふたばクラブ21 | 1 | 習字 | |
| 7/21 | ボランティア愛 | 2 | 習字 | 2/6 | ふたばクラブ21 | 1 | | お茶会 |
| 7/22 | 新居浜工業高校 | 10 | 車椅子整備 | 2/7 | ボランティア愛 | 2 | | |
| 7/26 | ふたばクラブ21 | 8 | お楽しみ会 | 2/7 | ふたばクラブ21 | 1 | 雛飾り | |
| | ふたばクラブ21 | 8 | | 2/10 | ボランティア愛 | 2 | 賀寿の祝い | |
| | ボランティア愛 | 3 | | 2/16 | ふたばクラブ21 | 1 | | |
| | 伊予銀行 | 31 | | ふたば会夏祭り | 2/16 | ボランティア愛 | 2 | 習字 |
| | 船木青少年健全育成会 | 16 | | | 2/24 | ふたば荘OB | 1 | |
| 久保原青壮年部 | 12 | 2/24 | ボーイスカウト新居浜 | 4 | 車椅子点検 | | | |
| 8/4 | ボランティア愛 | 2 | 習字 | 2/28 | ふたばクラブ21 | 6 | お楽しみ会 | |
| 8/22 | ボランティア愛 | 2 | お茶会 | 3/2 | ボランティア愛 | 2 | 習字 | |
| 8/23 | ふたばクラブ21 | 5 | お楽しみ会 | | 3/2 | ふたば荘OB | | 1 |
| 8/25 | ふたばクラブ21 | 1 | 習字 | 3/16 | ふたばクラブ21 | 1 | 習字 | |
| | ボランティア愛 | 2 | | 3/16 | ボランティア愛 | 2 | | |
| 8/26 | ボーイスカウト新居浜 | 5 | 車椅子点検 | 3/16 | ふたば荘OB | 1 | | |
| 9/5 | ふたばクラブ21 | 1 | お茶会 | 3/27 | ふたばクラブ21 | 1 | お茶会 | |
| | ボランティア愛 | 1 | | 3/27 | ボランティア愛 | 2 | | |
| 9/8 | ふたばクラブ21 | 1 | 習字 | | | | | |
| | ボランティア愛 | 2 | | | | | | |
| 9/10 | ふたばクラブ21 | 5 | 敬老会 | | | | | |
| 9/27 | ふたばクラブ21 | 3 | お楽しみ会 | | | | | |
| 9/30 | ボーイスカウト新居浜 | 5 | 車椅子点検 | | | | | |
| 合 計 | | | | | | 319 | | |

ふたばクラブ21のボランティアについては、毎月（第四水曜日）のお楽しみ会や個別活動にて行事のお手伝い等3月末まで延べ319名のボランティアの方々が訪問し、行事・清掃等を実施して頂いた。また、ボランティア手帳についても各人活用し、活動時には持参して頂いています。

10. 指定居宅介護支援

- ・ 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域全体を視野に入れ生活を支えていきました。
- ・ 総合事業の実施に伴うサービスの移行がスムーズに進むよう、多様な生活支援を行いました。

| 目標及び課題 | 成果等 |
|------------------------|--|
| (1) 効果的かつ効率的な支援 | <ul style="list-style-type: none"> ① 利用者や家族への豊富な情報提供により、自立支援に向けた居宅サービス計画を、多角的に提案しました。 ② サービス提供事業所との密な連携により、利用者の状況を適時把握し、状況に合ったサービスを提供しました。 |
| (2) 医療との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ① 医療機関との連携をとり、入退院時の調整をスムーズに行いました。 ② 在宅医療に係る情報を収集し、利用者・家族等へ情報提供を行いました。 |
| (3) 職員の研鑽 | <ul style="list-style-type: none"> ① 職員のコミュニケーション能力、ケアマネジメント能力の向上に努めました。 ② 要支援から要介護まで一人の方を継続して支援できる知識と能力の向上のため、業務に関連する研修会に積極的に参加しました。 ③ 制度改正を視野に入れ、情報収集に努め、適切な対応と利用者への情報提供を行いました。 |
| (4) 事業所内の連携と法人内事業所との協力 | <ul style="list-style-type: none"> ① 事業所内での情報の共有を行い、円滑な対応を行いました。 ② 適切な情報交換により、地域への協働体制を目指しました。 |

11. 通所介護事業所（含 介護予防通所介護事業所）

総合目標及び課題

事業休止中につき、再開も含め今後の事業について検討出来なかった。

| 目標及び課題 | 成果等 |
|------------|---|
| (1) 事業の検討 | 再開を含む事業内容について、検討を行ったが具体案まで進まなかった。次年度以降の課題となった。 |
| (2) 配食サービス | <p>在宅で生活する要介護高齢者に対して、栄養のバランスのとれた食事を定期的に供給できた。また、食事を手渡しすることで、安否確認、状況確認もできた。</p> <p>300円：1,686食 500円：474食</p> |

12. 在宅介護支援センター

新居浜市地域包括支援センターが行う総合相談支援業務及び権利擁護業務等に協力した。

在宅介護支援センターは次に定める事業を行った。

| 目標及び課題 | 成果等 |
|--|---|
| (1) 総合相談支援業務 「高齢者や家族からの総合的な介護や福祉に関する相談」 | <p>相談件数150件 (内訳：電話61件・訪問77件 来所4件・その他8件)</p> <p>「認知症サポーター養成講座補助」 講師0回、演者8回、その他2回</p> |
| (2) 権利擁護業務 | <p>「船木地域ケアネットワーク推進協議会」：3回 「泉川地域ケアネットワーク推進協議会」：1回</p> |
| (3) 地域ケアネットワーク推進協議会の開催 | <p>配食サービス利用者再アセスメント調査：17件 配食サービス利用者新規アセスメント調査：9件</p> |
| (4) 配食サービス利用者アセスメント業務 | <p>泉川見守り・SOSネットワーク協議会：7回</p> |

13. 委員会活動

| 目標及び課題 | 成果等 |
|--|---|
| <p>【環境委員会】 利用者・職員が快適に生活出来る空間を提供できるよう、施設内外の環境整備に努めた。</p> <p>【サービス向上委員会】 施設生活や利用者個人に関わる課題について多職種で協議し、サービスの質向上を図った。</p> <p>【感染委員会】 施設では、抵抗力が弱い利用者が生活しています、感染の拡大を最小限にする事に努めた。</p> | <p>① 月1回奉仕デイを実施し、施設内外の環境美化に努めた。ただ、毎回の参加人数が10数名と少なく、予定箇所ができない事があった。雨天時には、翌週等に延期し対応した。</p> <p>② 施設内の破損箇所の補修・壁やシンクのカビ除去清掃を臨時で実施した。今後も梅雨時期等に、協議して実施していきたい。</p> <p>③ 委員で花壇の割り振りをし管理を行った。植え替えの必要の無い、多年草に順次花壇の植え替えを行い、管理しやすいようにした。11月のみ花を購入して花壇に植え替えした。</p> <p>④ 居室の時計を電波時計に変更し、時差が無いようにした。</p> <p>① 季節の全体行事について、実施方法や場所の選択等の検討を行い、実施に繋げる事ができた。</p> <p>② 各部署や委員会からの検討課題について、参加者で協議・評価を行う事で、サービスの向上に繋げる事はできた。しかし、検討課題の抽出については、もう少し事前に準備し、多様な項目について協議できるように改善していきたい。</p> <p>施設において、感染に対する抵抗力が弱い利用者が集団で生活する場所のため、平常時から対策を実施し、発生時においては迅速な対応が出来るように職員の意識レベルの向上を図り、感染症が発生した場合、その拡大を最小限に抑えるように施設全体で取り組むよう努めた。</p> <p>① 委員会開催回数及び出席人数 年間／19回 出席延べ人数／181名</p> <p>② 毎月の委員会検討内容（項目のみ） 4月・・・MRSA結果報告／利用者健康診断実施 5月・・・MRSA結果報告／ 春のベッドマット消毒交換の実施、職員の健康診断 利用者感染症一覧表配布について 6月・・・MRSA結果報告／ベットマット交換終了報告</p> |

| | |
|--|---|
| <p>【給食委員会】 食事を通して、利用者の健康保持と生活の楽しみを提供できる活動に努めた。</p> | <p>7月・・・MRSA結果報告／ゴキブリの駆除、カビの除去について 8月・・・MRSA結果報告／ゴキブリの集計／食中毒について 9月・・・MRSA結果報告／ゴキブリの集計 秋のベットのマット交換について 10月・・・MRSA結果報告／インフルエンザ予防接種について手洗いチェックについて 11月・・・MRSA結果報告／秋のベットのマット交換終了について 食事介助時のエプロンについて 12月・・・MRSA結果報告／感染対策の基本と清掃（参加者34名）（監査の指摘事項） 1月・・・インフルエンザ臨時感染委員会（7回） 2月・・・MRSA結果報告・インフルエンザ感染と蔓延についての反省 手指消毒について 2月・・・疥癬発症と対策について（臨時委員会） 疥癬者（1名） 3月・・・MRSA検査結果 インフルエンザについて 疥癬終結について（2/23～3/12）18日間 水虫について</p> <p>③ 平成29年度の活動と結果について インフルエンザの感染については、平年通り、利用者・職員のワクチン接種を行い、手洗いうがいの徹底も行っていった。しかし、今年は年初より突発的にインフルエンザが蔓延し、利用者32名ショートステイ利用者2名職員13名が発症した。それに対し臨時委員会開催、発症者については、早急に対応することができ重篤化には至らなかった。</p> <p>① 毎月、行事食の計画立案をおこなった。 ② 毎月、体重の変化や、食思の変化、体調の変化など食事に関する個々の食事検討を行い、特に低栄養、高リスク者に対して、栄養補給など早急の対応をおこなった。 ③ 水分補給や食事形態、食事介助などの検討をおこなった。 ④ 経口摂取維持の為の口腔ケア及び食事介助、食形態について評価をおこない、誤嚥の予防に努めた。</p> |
|--|---|

| | |
|--|---|
| <p>【広報委員会】 広報誌を通じて利用者・家族・地域等に対して、施設生活の様子を伝える事ができるよう活動を実施し、施設への関心を高める事に努めた。</p> <p>【研修委員会】 施設内研修を計画し実施した。</p> <p>【事故防止委員会】 介護事故の予防・減災に努めた。</p> <p>【言葉・態度委員会】 利用者・外来者・職員が心地よく感じられる、接遇を目指し言葉遣い・態度について見直しをおこなった。</p> | <p>① 年6部（奇数月）広報誌の発行を実施した。</p> <p>② 広報誌を伊予銀行船木支店および郵便局船木支店の店頭で配布、船木公民館を通じて船木地区全域に配布した。ふたば夏祭りのポスターを各所に設置した。</p> <p>③ 事務所前の壁面飾りを部所ごとに担当を設け、季節に応じた飾り付けをして環境作りに取り組んだ。</p> <p>① 運営基準に基づき、定期的な研修内容を取り入れ年間計画を作成した。年間10回の研修を実施し延べ人数で248名の参加があった。昨年度未実施であった、施設内実践報告会も実施し、根拠ある介護の実践に努めた。引き続き、欠席者への内容のフィードバックと参加率向上への取り組みが課題となった。 （平均参加率：69%）</p> <p>① 介護事故再発防止のため、報告された事例に関しては集計し事故防止委員会の中で分析にて対応策を具体的に検討した。また、事故とひやりの区分の見直しを実施した。その結果、事故発生が78件、ひやり報告件数が72件、短期入所の事故・ひやりの合計が21件であった。</p> <p>② 重大事故については、5件の事故を新居浜市介護福祉課・東予地方局に提出した。</p> <p>③ 本年度3月に外部講師にてリスクマネジメントの研修を計画し実施したが、参加人数22名で介護職員の参加が少なく次回の課題となった。</p> <p>「笑顔で挨拶」をテーマに取り組んだ。 来荘された方や利用者が、気持ち良く過ごして頂けるように啓発活動に取り組んだ。しかし、出来ない職員もいるので、次年度以降も引き続き課題となった。 職員同士も、年や経験に関係なく相手を尊重して「ちゃん付け」をせず、きちんと「さん」と呼ぶことの定着が出来なかった。</p> |
|--|---|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|----|
| <p>【褥瘡委員会】 施設内で褥瘡を発生しないように努めた。</p> | <p>平成29年度、施設において褥瘡が発生しないように委員会で、発生予防や対策を検討した。</p> <p>① 年間12回 参加人数 77名</p> <p>② 褥瘡者発生 ハイリスク者人数</p> <table border="0"> <tr><td>4月…0名</td><td>18名</td></tr> <tr><td>5月…0名</td><td>16名</td></tr> <tr><td>6月…0名</td><td>14名</td></tr> <tr><td>7月…1名</td><td>11名</td></tr> <tr><td>8月…0名</td><td>13名</td></tr> <tr><td>9月…0名</td><td>13名</td></tr> <tr><td>10月…1名</td><td>10名</td></tr> <tr><td>11月…1名</td><td>12名</td></tr> <tr><td>12月…1名</td><td>11名</td></tr> <tr><td>1月…2名</td><td>11名</td></tr> <tr><td>2月…3名</td><td>12名</td></tr> <tr><td>3月…3名</td><td>9名</td></tr> </table> <p>③ 4・10月健康診断によるアルブミン値のK式スケール評価実施した。</p> <p>④ 年1回の褥瘡委員会により学習会を実施した。 日 時：平成29年10月24日 テーマ：「ポジショニング（拘縮・褥瘡 予防）」</p> <p>⑤ 褥瘡状況と結果について 本年度、褥瘡発生あり施設内で褥瘡「0」と言う目標に、達する事ができなかった。早期に発見し、予防することの大切さを再認識した。次年度以降の課題となった。</p> | 4月…0名 | 18名 | 5月…0名 | 16名 | 6月…0名 | 14名 | 7月…1名 | 11名 | 8月…0名 | 13名 | 9月…0名 | 13名 | 10月…1名 | 10名 | 11月…1名 | 12名 | 12月…1名 | 11名 | 1月…2名 | 11名 | 2月…3名 | 12名 | 3月…3名 | 9名 |
| 4月…0名 | 18名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5月…0名 | 16名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6月…0名 | 14名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7月…1名 | 11名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月…0名 | 13名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9月…0名 | 13名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10月…1名 | 10名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11月…1名 | 12名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12月…1名 | 11名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1月…2名 | 11名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2月…3名 | 12名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3月…3名 | 9名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【排泄委員会】 ・トイレ内での気持ちのよい排泄に努めた。</p> <p>・皮膚のトラブル、尿路感染等の予防に努めた。</p> | <p>① トイレでの排泄を希望されている方で立位が困難になった利用者にリフトを使うことで継続したトイレ誘導を行う事ができた。</p> <p>② トイレ誘導は行えていても、パットに尿が出ている利用者が増えて来ているが、個別での排泄パターンを把握する取り組みは出来なかった。</p> <p>① 陰部洗浄はオムツ交換都度、職員に声を掛け習慣付いてきた。</p> <p>② 適切なオムツの使用を心掛けていたが、爛れなどの皮膚疾患を起こす利用者が数名いた。その事で、使用するオムツだけでなく、カバーからパンツへの見直しを行い経過観察を行った。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【看取り委員会】

安らかな最期を迎えられる様支援に努めた。

当委員会では、利用者が尊厳ある安らかな最期を迎えるために看取り開始時から他職種と連携したカンファレンスを持ち、本人の意思ならびに家族の意向を最大限に尊重して行った。

日頃より家族とのコミュニケーションをとる事で、信頼関係が築け本人及び御家族の希望に添った看取りを行った。

① 看取りの実際

| | | | | |
|-----|----|-----|----|------|
| 5月 | 1名 | 9月 | 1名 | |
| 10月 | 3名 | 11月 | 1名 | |
| 2月 | 1名 | 3月 | 2名 | 計10名 |

② 今後の課題と取り組みについて

- ・家族との最期の時を迎えられるよう、連絡のタイミングが課題となった。
- ・施設での看取りの理念、死生観教育、終末期の身体的・精神的変化への対応などの研修を年1回行った。しかし、全員での共有ができていないため、今後も継続した教育が必要となった。

【喀痰吸引委員会】

喀痰吸引を安全に実施できるよう努めた。

利用者が、穏やかに生活して頂くために医療行為研修を終了した介護職員による安楽な呼吸の管理に努めた。

【喀痰吸引の実際】

| | | | |
|----------|----|--------|----|
| 4月：同意者数 | 6名 | 夜間吸引者数 | 2名 |
| 5月：同意者数 | 5名 | 夜間吸引者数 | 2名 |
| 6月：同意者数 | 4名 | 夜間吸引者数 | 3名 |
| 7月：同意者数 | 4名 | 夜間吸引者数 | 3名 |
| 8月：同意者数 | 4名 | 夜間吸引者数 | 3名 |
| 9月：同意者数 | 4名 | 夜間吸引者数 | 3名 |
| 10月：同意者数 | 3名 | 夜間吸引者数 | 3名 |
| 11月：同意者数 | 4名 | 夜間吸引者数 | 2名 |
| 12月：同意者数 | 4名 | 夜間吸引者数 | 2名 |
| 1月：同意者数 | 3名 | 夜間吸引者数 | 1名 |
| 2月：同意者数 | 5名 | 夜間吸引者数 | 2名 |
| 3月：同意者数 | 4名 | 夜間吸引者数 | 2名 |

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所
デイサービスセンター
グループホーム

ふたばの森

特別養護老人ホームふたばの森

1. 事務

総合目標及び課題

開かれた施設経営を行うとともに利用者と地域貢献にお応え出来るように努めた。
また、それぞれの各事業所、職種間で連携が取れるように図った。

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|----------------------------|--|
| (1) 予算執行及び委託業務廃止への取組 | ① 予算要求に基づき、緊急性のあるものより執行した。また、開設より7年が経過したことにより機器の故障が目立ち業務に支障を来さない様、対応に努めた。 ② 清掃業務・給食委託先の都合により撤退及び値上げの申入があったことから平成30年度からの清掃員の雇い入れ、自前調理クックチル方式への移行への準備を進めた。 |
| (2) 特定建築物定期調査及び検査への対応 | 建築基準法第12条等に基づく定期検査を、設計管理会社へ依頼し実施した。結果については、建築物等に係る不具合等は無く、その旨を行政へ報告した。 |
| (3) 新居浜市介護支援ボランティアの受入れについて | 介護支援ボランティア（清掃・車椅子清掃）の受入れを積極的に行った。 |
| (4) 地域貢献への強化 | ① 平成28年度より実施している移動販売は、地域ニーズを取り入れ、また掘り起こしをしながら定期的に開催した。 ② 新居浜市地域包括支援センターより「一般高齢者介護予防教室」（元気もりもり教室）を受託し、デイサービスセンターふたばの森を主体として法人全体で取り組んだ。結果、1クール15回シリーズとして船木地区（延べ416人）、泉川地区（延べ177人）2クールを開催した。 |
| (5) 愛媛県老人施設協議会との共催研修開催について | 愛媛県老人福祉施設協議会ならびに東予地区老人福祉施設協議会との共催で、12月15日新居浜市立別子銅山祈念図書館ホールにて特別養護老人ホーム芦花 |

| | |
|--|--|
| | ホーム医師 石飛 幸三先生を講師として迎え、看取りに関する研修会を開催した。県下より約百名の方が参加され、看取りの道標を学んだ。 |
|--|--|

2.生活相談員

総合目標及び課題

施設理念に沿って利用者の満足と安心した生活に繋がるよう他職種と連携して、個々に応じたサービスの提供に努めた。また、契約者と連絡を密に行い施設サービスの理解と関係作りに努めた。

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|---------------------|---|
| (1) 稼働率について | 年間平均稼働率は95.1%となった。入所待機者を常時調整・確保し、空床が発生すると同時に新規入所者の利用調整を行うが、入退所8件において空床101日、平均12.6日間での新規利用者の入所契約となった。また、入院時の空床ベッドをショート利用に繋がる調整については、空床520日に対してショート利用5日、空床利用率0.96%にとどまった。 |
| (2) 利用相談等の調整・対応について | 契約者に対して利用料金の説明や利用者の服薬変更、事故発生時は速やかに連絡するように努めた。また、事故発生リスクの高い利用者に関しては、利用状況、様子を家族と共用できるように積極的に電話や面会時に情報を発信した。 |
| (3) 生活リハビリの継続と充実 | ① 日常生活リハビリを希望される利用者に対して相談員等で短時間ではあるが実施した。主に歩行器を使った訓練や立位保持訓練が主となった。生活リハビリ以上のニーズに対しては、訪問医療マッサージの紹介や、利用調整など契約者と相談し行った。 |
| (4) 実習・ボランティアについて | 実習の目的に沿って各実習の受け入れに努めた。新規実習団体の受け入れはなく、昨年同様の対応となった。ボランティアは、新規受入はなく、個人2名の継続活動だけだった。 |

3.介護

総合目標及び課題

一人ひとりの要望に応えるとともにケアプランに個々の要望や、ご家族の要望を反映させながら安全で安心した生活が過ごせるような援助をした。また、前年度に引き続き介護力向上講習会で学んだ水、運動、自然排便を目標に努めた。

<さくらユニット>

| 重点目標及び課題 | 成果等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|-------|----|-----|---|-----|---|---|----------|-------|---|------|---|---|----------|------|---|------|----|----|--------------|------|----|-----|----|----|---------|-------|----|-----------|------|---|-----|---|
| (1) 個別ケアの充実 | <p>個々にあったサービスを提供し、利用者や家族の要望でマッサージを継続する事が出来た。</p> <p>利用者の入院、インフルエンザが流行した事もあり、外出や施設内での行事が出来なかった。しかし、食欲不振の利用者の好みをユニット内で作る事で、食欲も戻り元気になった。今後も他職種の協力の下実施していきたい。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 統一したサービス支援の提供 | <p>新しい取り組みを行う時は、まず各ユニット内で相談し方向性を確認し、他のユニット、他職種にも情報の共有を図って、同じ対応ができる様取り組んだ。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 接遇の共通認識 | <p>① 利用者と同じ目線で接し、不快感を与えないようにした。</p> <p>② 挨拶は元気で明るい笑顔で接した。ユニットで接遇目標を掲げ、ユニット会にて実施出来たかどうか話し合うようにした。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 年間諸行事 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>行事</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>お花見</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>菖蒲、紫陽花見物</td> <td>8. 14</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>七夕祭り</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>納涼祭(盆踊り)</td> <td>5・15</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>いも炊き</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ちびっこランド・舞奴踊り</td> <td>6・14</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>地方祭</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>紅葉見物・外食</td> <td>3. 30</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>クリスマス会・外食</td> <td>7・19</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>拝賀式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> | 月 | 行事 | 実施日 | 4 | お花見 | 5 | 6 | 菖蒲、紫陽花見物 | 8. 14 | 7 | 七夕祭り | 7 | 8 | 納涼祭(盆踊り) | 5・15 | 9 | いも炊き | 27 | 10 | ちびっこランド・舞奴踊り | 6・14 | 10 | 地方祭 | 16 | 11 | 紅葉見物・外食 | 3. 30 | 12 | クリスマス会・外食 | 7・19 | 1 | 拝賀式 | 1 |
| 月 | 行事 | 実施日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | お花見 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 菖蒲、紫陽花見物 | 8. 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 七夕祭り | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 納涼祭(盆踊り) | 5・15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | いも炊き | 27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | ちびっこランド・舞奴踊り | 6・14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 地方祭 | 16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 紅葉見物・外食 | 3. 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | クリスマス会・外食 | 7・19 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 拝賀式 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

<ふじユニット>

| 重点目標及び課題 | 成果等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|----------|----|-----|---|-----|---|---|--------------|-----|---|--------------|---|---|-------|-----|---|------------|-----|---|-------------|-----|---|-----|--------|-----|-----|----------|-----|------------|---|-----|--------|-----|---|-----|---|
| (1) 個別ケアの充実 | <p>個人の要望を聞きながら、ユニットの職員が中心になり、出来るだけ早く個別ニーズに対応し、外食や外出など個々の要望に応えられるよう調整をした。好みの飲み物を提供し、トイレ誘導時の立位保持により腹圧をかけてもらったり、個別に食物繊維（バナナ）を摂ってもらい自然排便を促せるよう利用者の状態を細かく観察を行った。</p> <p>入所者やご家族の要望でマッサージ業者に依頼して週1回マッサージを実施した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 統一したサービス支援の提供 | <p>新しい取り組みを行う時は、まず各ユニット内で相談して方向性を確認し、他のユニット職員や他職種職員（相談員、看護職員、栄養士）とも情報の共有を図り、同じ対応ができる様にした。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 接遇の共通認識 | <p>① 元気に笑顔で挨拶を行った。</p> <p>② 感謝の気持ちを忘れないようにした。</p> <p>③ 接遇委員会と相談しながら毎月のユニット会で接遇目標を決めて評価もユニット会で話し合う事にした。</p> <p>ふじユニット理念とし取り組んだ。また、会話時の姿勢や目線に気がつけた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 年間諸行事 | <table border="1" data-bbox="676 1335 1334 1870"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>行事</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>お花見</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ユニット行事（散策、桜）</td> <td>1 2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ユニット行事（散策、梅）</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>芍薬まつり</td> <td>1 6</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ユニット行事（外食）</td> <td>2 0</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ユニット行事（紫陽花）</td> <td>1 2</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>夏祭り</td> <td>5. 1 5</td> </tr> <tr> <td>1 0</td> <td>地方祭</td> <td>1 6. 1 8</td> </tr> <tr> <td>1 1</td> <td>ユニット行事（紅葉）</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>1 2</td> <td>クリスマス会</td> <td>1 9</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>拝賀式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> | 月 | 行事 | 実施日 | 4 | お花見 | 5 | 4 | ユニット行事（散策、桜） | 1 2 | 4 | ユニット行事（散策、梅） | 9 | 5 | 芍薬まつり | 1 6 | 5 | ユニット行事（外食） | 2 0 | 6 | ユニット行事（紫陽花） | 1 2 | 8 | 夏祭り | 5. 1 5 | 1 0 | 地方祭 | 1 6. 1 8 | 1 1 | ユニット行事（紅葉） | 7 | 1 2 | クリスマス会 | 1 9 | 1 | 拝賀式 | 1 |
| 月 | 行事 | 実施日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | お花見 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | ユニット行事（散策、桜） | 1 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | ユニット行事（散策、梅） | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 芍薬まつり | 1 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | ユニット行事（外食） | 2 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | ユニット行事（紫陽花） | 1 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 夏祭り | 5. 1 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 0 | 地方祭 | 1 6. 1 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 1 | ユニット行事（紅葉） | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 2 | クリスマス会 | 1 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 拝賀式 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

<いちょうユニット>

| 重点目標及び課題 | 成果等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|-------|----|-----|---|-----|---|--|--------|----|---|---------|----|---|--------|-------|---|-------|---|---|-----|------|---|-------|----|----|-----|----|
| (1) 個別ケアの充実 | <p>① 個々にケアプランを作成し、その方に合った個別ケアを行い、介護力向上講習会で学んだ水分・排泄・歩行に積極的に取り組んだ。ご自分で訴えの出来る利用者が多いので、担当職員を中心にその方の要望が実現出来る様に、相談員、家族と密に連携を取り対応した。</p> <p>② 個別での外出を行い、ご自宅で家族とゆっくりと過ごしたり、外食を楽しんでいただく事が出来た。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 統一したサービス支援の提供 | <p>① 報告・連絡・相談を密にし、職員5名が、統一した処遇ができるように、月に1回のユニット会の他に、ユニット職員間での情報共有を行える連絡簿を活用した。</p> <p>② 他職種や他ユニット職員との情報共有を行い、統一処遇が出来る様に努めた。</p> <p>③ ユニットで朝の炊飯を継続して行い、利用者にご飯が炊ける匂いや家庭的な雰囲気味わってもらえるよう努めた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 接遇の共通認識 | <p>① 利用者の立場、気持ちになり「ありがとうございます」の感謝の気持ちを常に持ち接した。</p> <p>② 会話や挨拶は、利用者の目線に合わせて、はっきりとわかりやすく行った。</p> <p>③ ユニットで毎月の目標を決め、利用者が安心して生活が送れる様に取り組んだ。また、月に1回のユニット会で目標に沿った対応が出来たかの話し合いを行った。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 年間諸行事 | <table border="1" data-bbox="676 1556 1334 1957"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>行事</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>お花見</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>どら焼き作り</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>新宮霧の森遠足</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>あじさい見学</td> <td>23・27</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>七夕まつり</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>納涼祭</td> <td>5・15</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>いも炊き会</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>地方祭</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> | 月 | 行事 | 実施日 | 4 | お花見 | 5 | | どら焼き作り | 28 | 5 | 新宮霧の森遠足 | 19 | 6 | あじさい見学 | 23・27 | 7 | 七夕まつり | 7 | 8 | 納涼祭 | 5・15 | 9 | いも炊き会 | 27 | 10 | 地方祭 | 16 |
| 月 | 行事 | 実施日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | お花見 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | どら焼き作り | 28 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 新宮霧の森遠足 | 19 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | あじさい見学 | 23・27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 七夕まつり | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 納涼祭 | 5・15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | いも炊き会 | 27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 地方祭 | 16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|--|-----|-----------|---------|
| | 1 1 | 紅葉見学 | 1 4・1 7 |
| | 1 2 | クリスマス会 | 1 9 |
| | | 船木小学校児童訪問 | 4 |
| | ※ 1 | 拝賀式 | 1 |
| | そ 3 | ふかし芋作り | 1 6 |

その他、毎月個別に外出（買い物、外食、自宅への外出）を行った。

4. 栄養

| 重点目標及び課題 | 成果等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|----|------|---|-----|----|---|-------|---|-----|------------|-------|---|-----|--------|---|--------|-------|
| (1) 栄養ケアマネジメントの実践 | 利用者毎に栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態の改善と健康増進に取り組んだ。また、多職種で協議し経口摂取維持を最大限支援した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 食事内容の充実化 | <p>① 個人の摂食機能に応じた安全と楽しみのある食事の提供を目指し、ソフト食の提供を行った。</p> <p>② 季節を感じ、楽しみのある行事食を提供した。</p> <p>③ より個々の要望に応えられるよう、週2回、選択食を実施した。</p> <p>④ 温冷配膳車の使用や調理工程に配慮し、適温の食事提供を行った。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 行事食 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>内容</th> <th>料理形態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>お花見</td> <td>弁当</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>いもたき会</td> <td>鍋</td> </tr> <tr> <td>1 2</td> <td>クリスマス会・忘年会</td> <td>洋食ランチ</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>お正月</td> <td>祝儀仕切折膳</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>バレンタイン</td> <td>ケーキ作り</td> </tr> </tbody> </table> | 月 | 内容 | 料理形態 | 4 | お花見 | 弁当 | 9 | いもたき会 | 鍋 | 1 2 | クリスマス会・忘年会 | 洋食ランチ | 1 | お正月 | 祝儀仕切折膳 | 2 | バレンタイン | ケーキ作り |
| 月 | 内容 | 料理形態 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | お花見 | 弁当 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | いもたき会 | 鍋 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 2 | クリスマス会・忘年会 | 洋食ランチ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | お正月 | 祝儀仕切折膳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | バレンタイン | ケーキ作り | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 安全で衛生的な食事サービス | 大量調理施設衛生管理マニュアルに準じて、食中毒予防と調理室内・調理器具の衛生管理を徹底した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

5. 医務

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|-----------------|--|
| (1) 日常生活の健康管理 | <ul style="list-style-type: none"> ① 日々、食事摂取状況、バイタル、排泄の確認、身体状況及び介護職員からの情報を把握し、個々の健康状態に努めた。 ② 個々の身体状態の異常の早期発見、早期対応に努め医療機関の受診を行った。 |
| (2) 他職種との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ① 介護職員と情報の共有を図り互いに協力し、より良い介護が提供できるようにした。 ② 年2回の健康診断(4月・10月)、随時の採血や、食事摂取状況を把握し、各職種と連携し食事内容の変更・見直しは随時行った。 ③ 経管栄養は医師の指示のもと、事故のないよう、安全・正確に注入した。 ④ インフルエンザ発生時、他職種と連携し感染予防対策を実施して感染の拡大防止に努めた。 |
| (3) 薬剤・投薬の適切な管理 | <ul style="list-style-type: none"> ① 定期処方・臨時処方の内容を確認し、間違いの無いようにした。 ② 臨時処方など個別に管理し、一覧表を作成することでわかりやすく整理した。 ③ 配薬準備時は、看護職員・介護職員によってダブルチェックを行った。 |
| (4) 職員への医療教育 | <ul style="list-style-type: none"> ① 入職時、医務研修を実施した。 ② 救急対応、看取りの対応について、介護、看護共に共通認識がもてる様研修会への参加・勉強会での伝達講習を行った。 |

6.委員会活動

・運営委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|---------------------|---|
| (1) 各ユニット、部署との情報の共有 | ① 共有すべき情報を提供し、運営が円滑に進むように開催した。 ② 次月の行事について、各部署の調整を行いながら実施出来るように決定した。 ③ 次年度に引き続きマニュアルの順位付けを行い、内容の見直しを各担当者が行った。 ④ 各部署、各ユニットより課題項目を議題として解決に向けて取り組みを行った。 ⑤ 苦情、重大事故については経過報告を行い、未然に防ぐ対応策の協議を行った。 |

・研修委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|-----|-------|-----|------------|----------|------------|---|-----------------|-----|------------------|-------|-----------|---|------------|-----|---|---------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| (1) 内部研修の実施 | ① 法令や運営基準に基づく必須研修を中心に、全職員対象の研修を実施した。 <table border="1" data-bbox="718 1093 1332 1361"> <thead> <tr> <th></th> <th>必須研修名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>褥瘡対策に関する研修</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>事故防止に関する研修</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>高齢者の虐待に防止に関する研修</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>感染症及び食中毒防止のための研修</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>看取りに関する研修</td> </tr> </tbody> </table> | | 必須研修名 | ① | 褥瘡対策に関する研修 | ② | 事故防止に関する研修 | ③ | 高齢者の虐待に防止に関する研修 | ④ | 感染症及び食中毒防止のための研修 | ⑤ | 看取りに関する研修 | | | | | | | | | | | | |
| | 必須研修名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① | 褥瘡対策に関する研修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② | 事故防止に関する研修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 高齢者の虐待に防止に関する研修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ | 感染症及び食中毒防止のための研修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ | 看取りに関する研修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ② 必要に応じ職員の要望を取り入れた内部研修やその時の情勢に合った内部研修を行った。 <table border="1" data-bbox="718 1541 1332 1899"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>研修内容</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>認知症・口腔ケア</td> <td>1 8</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>感染症・食中毒</td> <td>1 6</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>褥瘡・排泄</td> <td>2 1</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>身体拘束の排除・虐待</td> <td>1 9</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>防災・事故防止</td> <td>2 0</td> </tr> <tr> <td>1 1</td> <td>感染症</td> <td>1 6</td> </tr> <tr> <td>1 2</td> <td>実践発表</td> <td>2 9</td> </tr> </tbody> </table> | 月 | 研修内容 | 実施日 | 4 | 認知症・口腔ケア | 1 8 | 5 | 感染症・食中毒 | 1 6 | 6 | 褥瘡・排泄 | 2 1 | 7 | 身体拘束の排除・虐待 | 1 9 | 9 | 防災・事故防止 | 2 0 | 1 1 | 感染症 | 1 6 | 1 2 | 実践発表 | 2 9 |
| 月 | 研修内容 | 実施日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 認知症・口腔ケア | 1 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 感染症・食中毒 | 1 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 褥瘡・排泄 | 2 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 身体拘束の排除・虐待 | 1 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 防災・事故防止 | 2 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 1 | 感染症 | 1 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 2 | 実践発表 | 2 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|--------------|---|
| (2) 新任職員への研修 | 入職時の施設長研修を中心に、各職種に必要な基礎研修を実施した。実際の業務についてはOJTを通して、一対一での指導を行った。 |
| (3) 外部研修への参加 | 研修開催要項を開示して希望者を募った。希望者がいない場合は、指名参加した。研修後は、情報を全職員が共有出来るよう報告会を開催した。 |

・給食委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|----------------------|--|
| (1) 利用者個々に合った食事の提供 | 多職種で話し合いを行い、利用者個々に合った形態で食事を提供できるようにした。 |
| (2) 食事内容の充実化 | 毎月の給食委員会のほかに、利用者、職員の意見を参考にし、食事内容の充実化を図り、委託業者と連携し、季節感のある食事の提供を実施した。 |
| (3) 自然排便・排便コントロールの実施 | 排泄委員会や医務と連携し、自然排便を促す工夫をした。 |

・感染対策委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|----------------|---|
| (1) 定期的な委員会の開催 | 年中を通して食中毒や感染症が流行する時期を想定して事前に委員会を開催して対応策を講じた。また、経験の浅い職員については基本から指導し誤った対応をしないように指導した。状況に応じて早期に対応出来るよう都度、委員会を開催した。 |
| (2) マニュアルの見直し | 既存のマニュアルを委員が中心となって見直しを行った。また、手順書についても現実に則した内容に訂正を行った。 |
| (3) 感染症対策広報活動 | <p>① 最新の流行情報を入手して全職員に伝達を行った。</p> <p>② 11月より4月まで、職員・利用及び面会者に、うがい・手洗い・手指消毒・マスク着用で感染防止に努めた。インフルエンザ罹患者はでたものの、拡大は防ぐことができた。</p> <p>③ 12月に職員より通常疥癬が発生し、利用者2人の感染と2名の擬感染診断あり、感染拡大予防のため</p> |

| | |
|--|-------------------------------------|
| | め、マニュアル通り対応した。職員全員、医師の指示にて内服薬を内服した。 |
|--|-------------------------------------|

・入浴委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|------------------------------------|---|
| (1) 利用者個々にあった入浴方法と本人の要望に添った入浴の取り組み | <p>① 利用者の日常の生活リズムを把握し、マンツーマンでの入浴対応を行った。</p> <p>② 入浴時間や形態を本人の要望に添って入浴が出来るように行った。</p> |
| (2) 安全な入浴支援への取り組み | <p>① 入浴時の事故防止の為、入浴前入浴中の安全確認を継続して実施した。(備品やストレッチャーの動作確認)</p> <p>② 体調や状態の変化に応じて、随時入浴の形態の変更を行い、安全安楽な入浴支援を行った。</p> |
| (3) プライバシーの保護 | <p>入浴時、プライバシーを侵害しない為の取り組みに注意した(カーテン・タオルの使用)</p> |
| (4) 快適な入浴環境の整備 | <p>① 月1回の委員会を開催し、入浴環境、設備等の見直しを行い、快適な入浴が行えるよう改善した。</p> <p>② 入浴介助後の清掃・点検を職員に改めて注意して行うよう周知し、清潔保持に努めた。月に1回の浴室内溝清掃、半年に1回のカビ取りを実施した。</p> <p>③ 介助終了後、入浴担当者によるシャンプー類等の補充を定着させ、不備のないように努めた。</p> <p>④ 毎週土曜日には、エプロンの洗濯、機会のマット外しての清掃を行った。</p> |
| (5) 感染対策 | <p>感染症のある利用者の対応について、改めて職員に周知して介助時に実行出来るようにした。</p> |
| (6) その他 | <p>1階の洗濯場の洗剤の補充と清掃を、デイサービスと共同で実施し、チェック表に記入するようにして清潔の保持に努めた。</p> |

・防災対策委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|-------------|---|
| (1) 防災訓練の実施 | <p>① 災害発生時に入居者の安全確保に迅速に対応できるように、計画的に消火訓練・避難訓練を昼間想定、夜間想定で実施した。夜間想定時には消防署員に立会をいただき火災や避難に対する指導を受けた。</p> <p>② 水害、震災訓練を、計画的に訓練を行った。シェイクアウトえひめに参加し、防災対策に万全を期した。訓練前に、各部署・各ユニットへの参加周知及び参加職員との事前確認を行い、円滑に訓練を行った。</p> |
| (2) 地域防災 | <p>地域防災協定に基づき、合同防災訓練に参加した。また、事前に行われる準備会議にも委員が出席して交流を深めた。</p> |
| (3) 防災活動 | <p>① 日頃より、防災に関する敷地内パトロールを定期的に行い、施設内外の危険個所を把握改善、防災設備の点検整備等の防災対策を徹底した。</p> <p>② 備蓄品や避難経路図を常日頃より確認を行い、追加購入や変更が必要な場合は適時対応をした。</p> |
| (4) その他 | <p>防犯対策として、客谷自治会と共同で新居浜警察署より講師を招き防犯講習会を開催した。</p> |

・排泄委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|-------------------------------|---|
| (1) 利用者個々にあった排泄の方法と褥瘡予防への取り組み | <p>① 利用者の日常の生活リズムを把握し、排泄、排便の観察を行い、「個別排泄」「自立支援」を目指した。必要時都度排泄介護時間の検討、布パンツ使用等の個々にあったケアを目指した。</p> <p>② 排泄介助時には皮膚観察も常に行い、褥瘡や皮膚の爛れのある方は医務との連携を取り、早期対応処置を行った。</p> <p>③ オムツ業者の指導の下、排泄委員、新人職員が中心となって利用者の排泄形状にあったオムツの当て方などの勉強会を行い、統一したケアが出来た。</p> |

| | |
|---------------|--|
| (2) 感染予防 | トイレ誘導後、オムツ交換後に職員が感染の媒体にならないように、手洗い・アルコール消毒の実施を徹底した。 |
| (3) プライバシーの配慮 | 相手の立場にたった介助を心掛け、プライバシーに配慮した介助に努めた。 |
| (4) 環境整備 | ① 利用者のトイレ使用時にはいつでもトイレ内が清潔に保たれているよう、掃除を徹底した。 ② 気持ちの良い排泄をして頂けるよう排泄委員が中心となり、都度対応方法を検討した。 |

・環境委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|--------------|---|
| (1) 朝掃除の実施 | ① 朝清掃を実施し、施設の環境維持向上に努めた。 ② 朝清掃では、敷地内の掃き掃除、除草作業を行った。 ③ 年1回ベランダの排水溝の詰まり等の清掃を実施した。 |
| (2) 施設内清掃の実施 | ① 施設一階の清掃を毎朝実施した。 ② 施設内清掃では、玄関・廊下・事務所・トイレの清掃を重点的に行った。 |
| (3) 洗車・車内清掃 | 定期的に行った。 |
| (4) 設備の点検 | 破損前の点検を心がけた。 |

・褥瘡委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|-------------------------|--|
| (1) 施設内の褥瘡予防対策を効果的に推進した | ① 平成29年度褥瘡発生は、1件だった。 ② 入院中に褥瘡が出来、現在も改善と悪化をくりかえしており、治療補継続した。 |
| ・褥瘡対策委員会の構成 | 看護職員、介護職員、管理栄養士、生活相談員、介護支援専門員、その他必要と認められる職員で構成した。 |
| ・褥瘡対策委員会の開催 | 褥瘡対策委員会は、1ヶ月に1回（定例開催以外にも必要に応じて随時）開催した。 |

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡及び合併する感染症の予防体制の確立 ・褥瘡予防に関する情報の収集（身体状況、皮膚状態、栄養状態等の把握） ・施設内であった褥瘡事例の対応策 ・褥瘡予防の為のマニュアル類の整備 ・職員を対象とした褥瘡予防に関する研修の実施 ・その他、当施設内の褥瘡予防の為に必要な事項定期健康診断・ブレイデンスケールを活用し、褥瘡ハイリスク者計画を随時立案・修正行った。 ・年に2回利用者の血液検査を実施し褥瘡リスクの確認を行った。 |
|--|--|

・看取り委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|--|---|
| (1) 当たり前の、あるがままの生活、我が家のような生活に沿い、安らかな最後を迎える為の、様々なサービスの充実を図る事を目的とした。 | <p>10名の看取り対象者がいたが、家族に喜んでもらえた看取り介護を行えた。</p> <p>家族との連絡相談を密にし、できる限り本人、家族が望むサービスを実施した。</p> |
| (2) 看取り介護委員会の開催 | <p>看取り介護委員会を、必要に応じ随時開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各職種の役割 ・看取り時の介護体制 ・看取り介護に携わる者の体制及び記録等の整備 <ol style="list-style-type: none"> 1 医師の指示書 2 看取り介護同意書 3 看取りカンファレンスの開催 4 看取り介護計画書「変更、追加」 5 経過観察記録 6 臨終時の記録 7 看取り介護終了後のカンファレンス会議録 |
| (3) 看取りに関する職員教育 | <p>看取り介護の目的を明確にし、死生観教育と理解の確立を図った。</p> |
| (4) 施設内研修会、勉強会の開催、外部研修会への積極的参加 | <ol style="list-style-type: none"> ① 定期的な教育、研修を実施した。 ② 新任者に対する看取り介護の教育、研修を実施した。 |

| | |
|--|--|
| | ③ その他必要な教育、研修があれば参加した。看取り観覧研修への参加、勉強会を通し、職員への看取りに関する知識の共有を行った。 |
|--|--|

・運営推進委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|--------------------|--|
| (1) 施設運営の理解と透明性の確保 | 地域における施設サービスの在り方ならびに生活支援及び「利用者や家族のニーズ」について、内容を理解した。 |
| (2) 地域とのネットワーク作り | ① 運営推進会議を通して施設の地域とのかかわりを深めた。 ② 地域住民との意見交換の場にした。 ③ 地域や地域住民が持つ「力」や「ニーズ」を把握する場にした。 |
| (3) 施設における施設の有効活用 | ① 相談・連携等がスムーズに行えるように地域の窓口となった。 ② 行政職員が持っている制度・地域状況・各種資源などの情報を提供した。 ③ 地域住民や行政職員も交えながら、利用者家族や地域住民のニーズを吸い上げ新たなサービスのあり方を検討または実施した。 |

・接遇委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|---------------------------|---|
| (1) 利用者ご家族へのアンケート実施 | 利用者のご家族へ向けて、施設への思いをアンケート実施した。アンケート結果については、職員に周知及び協議を行った。協議した結果は、ご家族にお知らせし、今後活かすようにした。 |
| (2) 施設全体の目標とグループ内の目標設定と反省 | 全体目標は漠然としたものではなく、身近な目標を設定する事で取り組みやすいようにした。グループ内での目標、反省も発表しあう事で、問題も共有することができた。 |

・認知症委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|----------------------|--|
| (1) 認知症に対する理解と対応について | ① 毎月1回、認知症のある方の現状を理解しながら対応方法を他職種で検討した結果、色々な関わり方など話し合うことができた。改善できない時はその |

| | |
|--|--|
| <p>(2) 嘱託医（心療内科医）との連携</p> <p>(3) 認知症委員会の構成</p> | <p>都度医務に相談しながら対応を実施した。</p> <p>② 水、排泄、緩下剤の調整を取り組み、多職種で話し合い、認知症の方が落ち着いた生活を送れる様に話し合った。</p> <p>各ユニットで問題行動のある認知症の方への治療を、医務と心療内科医と連携、改善し服薬調整を行った。</p> <p>看護、介護、事務所、デイサービス、ショートステイなど多職種で関わり情報が共有出来る様委員会話し合った。</p> |
|--|--|

・広報委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|----------------------|---|
| <p>(1) ホームページの活用</p> | <p>施設開設のブログを更新し情報発信する予定であったが、実施することができなかった。</p> |
| <p>(2) 広報誌の発行</p> | <p>2ヶ月に1回の広報誌発行により、入居者やサービス利用者の生き生きとした姿を紹介することで家族や地域の方々に施設のアピールをすることができた。</p> |

・口腔ケア委員会

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|--------------------|--|
| <p>(1) 口腔ケアの充実</p> | <p>① 週1回の歯科医師と歯科衛生士による専門的口腔ケアの実施を通じて、口腔ケアに関する知識と意識を高め、統一した口腔ケアの実施に取り組んだ。</p> <p>② 週1回の歯科医師と歯科衛生士による専門的口腔ケアの実施を通じて、治療が必要な利用者に関して、本人や家族の意向を確認しつつ対処が行えた。</p> <p>③ 口腔状態に応じたケアと用具の選定により、より効果的に実施することができた。</p> |
| <p>(2) 学習会の実施</p> | <p>協力歯科医師の講師にて、学習会を実施し、口腔ケアの基礎知識の習得と共通の認識を高めた。</p> |

7. 職員研修参加状況（ふたばの森）

| 月 | 日 | 内容 | 場所 | 出席者 |
|----|-------|-----------------------------------|------|---------------|
| 4 | 14 | 東予老施協第1回施設長研修会・総会 | 四国中央 | 施設長1名 |
| | 28 | 県老施協 第1回総会及び施設長研修会 | 松山 | 施設長1名 |
| 5 | 10 | 介護支援専門員更新（専門）研修【研修課程Ⅱ】 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 17 | 愛媛県老人福祉施設大会 | 市内 | 施設長1名 |
| | 20～23 | 介護支援専門員更新（専門）研修【研修課程Ⅰ】 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 31 | 第1回新居浜市社会福祉施設協議会 | 市内 | 施設長1名 |
| 6 | 3～4 | 介護支援専門員更新（専門）研修【研修課程Ⅰ】 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 6 | 県老施協 ポジショニング（拘縮・褥瘡予防）研修会 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 17～18 | 介護支援専門員更新（専門）研修【研修課程Ⅰ】 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 17 | 県在介研「こだわりの入浴セミナー 作業からケアへ」 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 29～30 | 第66回四国老人福祉施設関係者研究大会 | 松山 | 看護職員1名、介護職員1名 |
| 7 | 8 | 市民公開講座「排便について考える」 | 市内 | 施設長1名 |
| | 8～9 | 介護支援専門員更新（専門）研修【研修課程Ⅱ】 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 11 | 県社協 第1回サービス向上研修会 相談・コミュニケーション技法 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 13 | 「福祉の職場」中堅職員研修会 | 松山 | 介護職員1名 |
| 8 | 5～6 | 介護支援専門員更新（専門）研修【研修課程Ⅱ】 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 29 | 社会福祉施設等における労働災害防止策説明会 | 松山 | 施設長1名 |
| | 31 | 東予老施協事務職員研修会 | 四国中央 | 施設長1名 |
| 9 | 21 | 東予老施協「介護職員（～実践ノーフット～福祉用具の活用術）」 | 四国中央 | 介護職員1名 |
| | 22 | 県老施協 服薬管理研修会（中予地区及び県老施協共催研修会） | 松山 | 施設長1名 |
| 10 | 11 | 県老施協 就労環境整備セミナー | 松山 | 施設長1名 |
| | 20 | 東予老施協 施設長と防災担当職員等との合同研修会 | 今治 | 施設長1名 |
| 11 | 2 | 東予老施協 介護支援専門員研修会 | 今治 | 介護職員1名 |
| | 20 | 東予老施協「第2回介護職員研修会」 | 今治 | 介護職員2名 |
| | 28 | 県老施協 施設ケアマネジメント研修会 | 松山 | 介護職員1名 |
| | 29 | 県在介研「高齢者虐待防止・身体拘束廃止～実情とその対応を考える～」 | 松山 | 介護職員1名 |
| 12 | 15 | 東予老施協 看取りに関する研修会 | 松山 | 施設長1名、介護職員3名 |
| | 22 | 県社協 第2回在宅介護テーマ別講習会 | 松山 | 介護職員1名 |
| 2 | 16 | 県経営協 社会福祉法人監事監査研修会 | 松山 | 監事1名、施設長1名 |
| 3 | 7 | 第2回東予地区老人福祉施設協議会総会 | 今治 | 施設長1名 |
| | 15 | 第3回新居浜市福祉施設協議会 | 市内 | 施設長1名 |
| | 19 | 県老施協 第2回施設長研修会 | 松山 | 施設長1名、相談員1名 |

8. 事業実施状況

| 月 | 保 健 衛 生 | 施 設 管 理 | 地域交流スペース利用状況 | |
|----|--|---|---|---|
| 4 | /1~25 職員健康診断(40名) /1~21 職員検便(41名) /25 利用者健康診断採血(29名) | /9 受水槽清掃 /20 カーテン業者交替、取り替え /11 /26 車椅子清掃ボランティア | /3 /10 /17 /24 移動販売ふたば屋 /4 /6 /11 /13 /18 /20 /25 /27 清掃ボランティア1名 /20 入居判定委員会 /18 内部学習会「口腔ケア」(30名) | /15 村上三絃堂コンサート13:30~14:20 /5 客谷自治会役員会19:00~20:30(14名) /10 フラダンス練習16:40~17:30(8名) /24 フラダンス練習16:40~17:30(8名) |
| 5 | /14~22 入居者健康診断(29名) /31 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名) | /4 EV定期点検 /7 全館ワックス /14 全館ワックス /16 /30 車椅子清掃ボランティア | /16 内部学習会「感染症、食中毒の予防」(34名) /1 /8 /15 /22 /29 移動販売ふたば屋 /9 /11 /16 /18 /23 /26 /30 清掃ボランティア1名 /18 運営推進会議19:00~ | /8 フラダンス練習16:10~17:30(8名) 客谷自治会役員会19:00~20:30(14名) /14 客谷自治会運動会反省会15:00~17:00(30名) /22 客谷自治会役員会19:00~20:30(10名) |
| 6 | /5 ゴキブリ駆除20:00~22:00 /30 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名) | /4 荷物用EV点検 /30 避難訓練 /14 /28 車椅子清掃ボランティア | /21 内部学習会「褥瘡・排泄ケア」(25名) /6 /8 /13 /15 /20 /22 /27 /29 清掃ボランティア1名 /5 /12 /19 /26 移動販売ふたば屋 | /5 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /6 客谷自治会役員会19:00~20:30(14名) /19 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /22 船木ケアネットワーク19:00~21:00(60名) |
| 7 | /31 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名) | /8 電気設備点検 /12 車椅子清掃ボランティア | /19 内部学習会「身体拘束の排除」(26名) /18 運営推進会議19:00~ /3 /10 /17 /24 /31 移動販売ふたば屋 /4 /6 /11 /13 /18 /20 /25 /27 清掃ボランティア1名 | /2 船木社協チャリティカラオケ /3 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /6 客谷自治会役員会19:00~20:30(14名) /17 フラダンス練習16:10~17:30(7名) |
| 8 | /29 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名) | /4 消防査察 /31 EV定期点検 /9 /24 車椅子清掃ボランティア | /24 内部学習会「褥瘡予防」(29名) /7 /14 /21 /28 移動販売ふたば屋 /1 /3 /8 /10 /15 /17 /22 /24 /29 /31 清掃ボランティア1名 | /1 客谷自治会19:00~20:00(14名) /7 フラダンス練習16:10~17:30(7名) /21 フラダンス練習16:10~17:30(7名) |
| 9 | /19 入居者レントゲン撮影16:00~ /30 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名) | /16 水防訓練 /26 消防設備点検 /29 浄化槽点検 /3 荷物用EV点検 /13 /28 車椅子清掃ボランティア | /2 内部学習会「防災に関する研修」 「事故防止」(21名) /18 運営推進会議19:00~ /4 /11 /18 /25 移動販売ふたば屋 /5 /7 /12 /14 /19 /21 /26 /28 清掃ボランティア1名 | /1 客谷自治会役員会10:00~13:30(14名) /4 フラダンス練習16:10~17:30(9名) /17 客谷敬老地域ふれあい9:00~14:00(30名) /18 フラダンス練習16:10~17:30(9名) |
| 10 | /5~24 職員健康診断(18名) /8 利用者健康診断採血(29名) /30~ インフルエンザ予防接種(職員41名) /31 入居者健康診断(29名) /26 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名) | /26 避難訓練 /11 /25 車椅子清掃ボランティア /17 特定建物定期調査 | /12 内部学習会「認知症、看取り」(21名) /2 /9 /16 /23 /30 移動販売ふたば屋 /3 /5 /10 /12 /19 /24 /26 清掃ボランティア1名 | /2 フラダンス練習16:10~17:30(9名) 客谷自治会役員会19:00~20:30(14名) /23 フラダンス練習16:10~17:30(9名) |
| 11 | /6 インフルエンザ予防接種(入居者27名) /28 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名) | /10 EV定期点検 /26 電機設備点検 /7 /22 車椅子清掃ボランティア | /16 内部学習会「感染症対策」(20名) /27 運営推進会議19:00~ /6 /13 /20 /27 移動販売ふたば屋 /7 /9 /14 /16 /21 /23 /28 /30 清掃ボランティア1名 | /6 フラダンス練習16:10~17:30(9名) 地域合同防災訓練08:30~10:00(110名) /20 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /28 船木ケアネットワーク19:00~21:00(55名) |
| 12 | /28 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名) | /3 荷物用EV定期点検 /15 県シェイクアウト(震災)訓練 /13 /25 車椅子清掃ボランティア | /4 県・市実地監査 /4 /11 /18 /25 移動販売ふたば屋 /5 /7 /12 /14 /19 /21 /26 清掃ボランティア1名 /29 実践報告会「認知症」「自立支援」(36名) | /1 客谷自治会役員会19:00~20:00(14名) /4 フラダンス練習16:10~17:30(9名) /12 フラダンス練習16:10~17:30(9名) |
| 1 | /31 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名) | /10 /24 車椅子清掃ボランティア | /24 運営推進会議19:00~ /8 /15 /22 /29 移動販売ふたば屋 /9 /11 /16 /18 /23 /25 /30 清掃ボランティア1名 | /8 フラダンス練習16:10~17:30(9名) /22 フラダンス練習16:10~17:30(9名) |
| 2 | /28 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名) | /7 /26 車椅子清掃ボランティア | /5 /12 /19 /26 移動販売ふたば屋 /1 /6 /8 /13 /15 /20 /23 /27 清掃ボランティア1名 | /5 フラダンス練習16:10~17:30(9名) /16 客谷自治会役員会19:00~20:00(10名) /18 客谷自治会19:00~20:00(15名) /19 フラダンス練習16:10~17:30(9名) /21 客谷自治会19:00~20:00(10名) /27 船木ケアネットワーク19:00~21:00(60名) |
| 3 | /29 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名) | /14 /27 車椅子清掃ボランティア /21 消防通報連動装置工事 /26 総合避難訓練 消防設備点検 /28 消防通報連動装置許可検査 | /26 運営推進会議19:00~ /5 /12 /19 /26 移動販売ふたば屋 /1 /6 /8 /13 /15 /20 /22 /27 /29 清掃ボランティア1名 | /6 客谷自治会19:00~21:00(14名) /6 フラダンス練習16:10~17:30(9名) /11 旭自治会19:00~20:00(45名) /18 客谷自治会19:00~20:00(50名) /19 フラダンス練習16:10~17:30(9名) /25 客谷自治会19:00~20:00(20名) |

特養利用者の概要

(1)利用者の状況

平成30年3月31日現在

在所期間の状況

| 期 間 | 男 | 女 | 計 | 比率(%) |
|------------|---|----|----|-------|
| 5年以上～10年未満 | 0 | 4 | 4 | 14% |
| 3年以上～5年未満 | 0 | 3 | 3 | 10% |
| 1年以上～3年未満 | 4 | 11 | 15 | 52% |
| 1年未満 | 2 | 3 | 5 | 17% |
| 合 計 | 6 | 21 | 27 | 93% |

平均利用期間は31.6ヶ月となっている。

年齢構成

| 区分 | 65歳未満 | 65～74 | 75～79 | 80～84 | 85～89 | 90～100 | 101～ | 平均 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|
| 男 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 1 | 0 | 81.5 |
| 女 | 0 | 0 | 1 | 4 | 7 | 8 | 1 | 88.5 |
| 合計 | 0 | 0 | 4 | 6 | 7 | 9 | 1 | 86.9 |

①平均年齢は約86.9歳となっている。

②最高齢者は、男性91歳、女性102歳で、最も若い利用者は、男性76歳、女性79歳である。

要介護度の状況 (H29年3月)

[要介護度]

| 介護度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 合計 | 平均 |
|-------|---|---|---|----|----|----|------|
| 男 性 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 6 | 4.00 |
| 女 性 | 1 | 0 | 2 | 10 | 8 | 21 | 4.14 |
| 合 計 | 1 | 0 | 4 | 12 | 10 | 27 | 4.11 |
| 前年度実績 | 1 | 0 | 9 | 10 | 9 | 29 | 3.90 |

平均要介護度は前年に比べて若干あがった。

(2)入退所状況

利用者状況

[月別新規入所者]

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 |

〔入所前住居〕

| 区分 | 在宅 | 病 院 | | | 介護施設 | | | その他施設 | 合計 |
|----|----|------|------|------|--------|--------|-----------|-------|----|
| | | 一般病棟 | 精神病棟 | 療養病棟 | 介護療養施設 | 老人保健施設 | 特別養護老人ホーム | | |
| 男 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 女 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 |
| 計 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 6 |

退所者状況

〔月別退所者〕

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 8 |

8名の方が退所となり、その内死亡による退所は8人となっている。

(3)日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

日常生活自立度（寝たきり度）

〔利用者27名〕

| | | |
|----------------|--|---|
| ランク J 生活自立 | 何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 | |
| | 1 交通機関等を利用して外出する。 | 0 |
| | 2 隣近所なら外出する。 | 0 |
| ランク A 準寝たきり | 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。 | |
| | 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 | 4 |
| | 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。 | 5 |
| ランク B 寝たきり | 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。 | |
| | 1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 | 4 |
| | 2 介助により車椅子に移乗する。 | 7 |
| ランク C 寝たきり | 一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。 | |
| | 1 自力で寝返りをうつ。 | 1 |
| | 2 自力では寝返りもうたない。 | 6 |

認知症老人の日常生活自立度判定

[利用者27名]

| 項目 | 痴 呆 の 程 度 | |
|------|--|----|
| 正 常 | 認知症の症状無し | 3 |
| ランクⅠ | 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。 | 1 |
| ランクⅡ | 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。 | |
| | a 家庭外で上記Ⅱの状態が見られる。 | 1 |
| | b 家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる。 | 0 |
| ランクⅢ | 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。 | |
| | a 日中を中心として、上記Ⅲの状態が見られる。 | 13 |
| | b 夜間を中心として、上記Ⅲの状態が見られる。 | 2 |
| ランクⅣ | 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。 | 5 |
| ランクⅤ | 著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする | 2 |

(4)ケアプラン実施状況

[ケアプラン：立案状況]

| 項目 | 水分 | 離床 | 食事 | 整容 | 排泄 | 生きがいづくり | 声かけ コミュニケーション | 居場所の 確認 |
|----|-------------|-------|------|-----|------|---------|------------------|------------|
| 人数 | 0 | 5 | 6 | 0 | 0 | 2 | 4 | 0 |
| 項目 | 日常生活 の援助 | 精神の安定 | 皮膚観察 | 医療面 | 姿勢保持 | 口腔 | 褥瘡 ハリス | 運動 |
| 人数 | 2 | 0 | 2 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 |

①個々のケアプランはそれぞれ複数となっているが、その内、最も重要と思われるもの各1を挙げている。

②個々のケアプランについては、包括的自立支援プログラム方式により6ヶ月毎及び状態に応じケアカンファレンスにて見直し立案を行い、サービス計画に基づいて毎日実践し、その状況を記録している。

ケアカンファレンス開催時38名のご家族が参加され、その割合は56%となっており本人やご家族の要望等を取り入れながらケアプランに反映させるよう努めました。

(5)利用者医療状況

疾 病 状 況

| 順 | 疾病名 | 人数 | 順 | 疾病名 | 人数 |
|---|-------------|-----|---|-----------|----|
| 1 | アルツハイマー型認知症 | 11 | 5 | アルコール性認知症 | 2 |
| 2 | 脳梗塞後遺症 | 6 | 6 | 老人性認知症 | 1 |
| 3 | パーキンソン病 | 4 | 7 | レビー小体型認知症 | 1 |
| 4 | 脳血管性認知症 | 3 | 8 | 心不全 | 1 |
| | | 合 計 | | 29 | |

現在治療中の疾病について、1人で複数の疾病を持っている方が多く、特に高齢者の特徴である、習慣性の便秘症・高血圧・脳梗塞・認知症が多くなっている。

受診状況

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | 月平均 | 1日平均 |
|------|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|------|------|
| 実人数 | 6 | 10 | 8 | 10 | 10 | 10 | 7 | 11 | 11 | 11 | 9 | 14 | 117 | 9.8 | 0.32 |
| 延人数 | 6 | 13 | 12 | 18 | 12 | 14 | 10 | 16 | 25 | 14 | 13 | 21 | 174 | 14.5 | 0.48 |

ご家族の要望での医療機関受診は、積極的に行っている。但し急変による心臓・脳血管疾患骨折等は、当施設で対応困難である為、医療機関での治療をお願いしている。

入院状況

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | 月平均 | 1日平均 入院人数 |
|------|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|-----|-----|------|--------------|
| 実人数 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 0 | 1 | 6 | 7 | 6 | 32 | 2.7 | |
| 延日数 | 20 | 25 | 54 | 21 | 1 | 41 | 16 | 0 | 15 | ## | 96 | 106 | 511 | 42.6 | 1.4 |

状態の悪化により、本人や家族の希望で受診・入院することがあるが、家族から終末を施設で迎えたいとの要望がある場合は、説明と同意を得てターミナルケアを実施している。

精神科往診

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | 月平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|------|
| 回数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 24 | 2.0 |
| 実人数 | 19 | 20 | 20 | 20 | 21 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 21 | 20 | 241 | 20.1 |
| 延人数 | 37 | 40 | 39 | 39 | 40 | 39 | 39 | 39 | 40 | 37 | 40 | 38 | 400 | 33.3 |

精神科医の往診が月2回あり、認知症で周辺症状がある場合は、診察を受け、その診断を処遇に生かしている。

歯科往診

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | 月平均 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|------|-------|
| 回数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 48 | 4.0 |
| 実人数 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 26 | 27 | 28 | 27 | 25 | 24 | 23 | 315 | 26.3 |
| 延人数 | 108 | 108 | 108 | 108 | 108 | 104 | 108 | 112 | 108 | 100 | 96 | 92 | 1260 | 105.0 |

歯科医師の往診を受け、口腔治療をおもに行っていた。歯科医の往診も継続し治療が行えている。

(6) 身体拘束ゼロ活動

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 1. 車椅子拘束 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2. チューブ拘束 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3. つなぎ服拘束 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4. ミトン型手袋による拘束 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 延べ日数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

今年も身体拘束ゼロについては、施設全体で取り組んでおり、身体拘束防止委員会を設置し、利用者の身体拘束を個別に検討し、福祉用具の導入や現在行われている介護を見直し、よりよいケアの実現を目指すよう努力している。委員会メンバーは・施設長・主任事務員・生活相談員・介護部長・介護副部長・看護職員・栄養管理部長・業務部長及び、グループ職員からの構成になっている。

なお、運営基準で利用者の生命又は身体を保護するため、緊急やむを得ない場合を除き、行動を制限する行為を行ってはならないと規定されており、身体拘束などを行う場合には、その対応及び時間、利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録しなければならない。また、その際は、利用者本人や家族に対して詳細な説明と十分な理解を得る必要がある。現在身体拘束は実施していない。

(7) ユニットケア実施状況

| 実施日 | 行事内容 | 場 所 | グループ別 参加利用者数 | | | | 計 |
|-------|-----------|----------|--------------|----|------|-----|-----|
| | | | さくら | ふじ | いちよう | もみじ | |
| 4/5 | 合同花見 | 近隣グラウンド | 10 | 10 | 9 | 12 | 41 |
| 5/19 | 霧の森遠足 | 霧の森（新宮） | 0 | 0 | 6 | 3 | 9 |
| 6/1 | 紫陽花見物 | 池田池 | 9 | 5 | 4 | 0 | 18 |
| 8/2 | スイカ割り | 施設内 | 2 | 1 | 3 | 13 | 19 |
| 8/5 | 元船木夏祭り | 近隣グラウンド | 7 | 3 | 4 | 7 | 21 |
| 8/15 | 船木ふるさと夏祭り | 船木小学校 | 4 | 2 | 5 | 5 | 16 |
| 9/5 | 長寿のお祝い | 施設内 | 6 | 7 | 7 | 10 | 30 |
| 10/21 | 霧の森遠足 | 霧の森（新宮） | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 11/1 | 紅葉見物 | マイントピア別子 | 0 | 3 | 1 | 2 | 6 |
| 11/4 | 霧の森遠足 | 霧の森（新宮） | 0 | 0 | 6 | 0 | 6 |
| 12/19 | クリスマス忘年会 | 施設内 | 10 | 9 | 10 | 14 | 43 |
| 1/4 | 初詣 | 施設内 | 2 | 0 | 0 | 2 | 4 |
| 合 計 | | | 55 | 40 | 55 | 68 | 218 |

個別ケア 実施状況

《さくらユニット》

(入浴実施状況： 2回/週)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|--------|----|----|----|----|----|-----|----|-----|-----|----|----|----|-------|
| 仰臥位入浴 | 56 | 56 | 56 | 56 | 50 | 60 | 48 | 58 | 56 | 56 | 54 | 58 | 664 |
| 座位入浴 | 16 | 16 | 16 | 16 | 18 | 20 | 14 | 20 | 18 | 12 | 15 | 9 | 190 |
| 自立補助入浴 | 8 | 8 | 8 | 8 | 11 | 20 | 16 | 20 | 19 | 8 | 8 | 9 | 143 |
| 清拭 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| シャワー浴 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 合計 | 80 | 80 | 80 | 80 | 79 | 100 | 80 | 100 | 100 | 76 | 77 | 76 | 1,008 |

(行事・レク実施状況)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|--------------|----|---|----|---|----|----|----|----|----|---|---|---|-----|
| 外出、買い物、外食 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 美容、理容 | 3 | 6 | 5 | 7 | 4 | 5 | 7 | 5 | 6 | 4 | 5 | 5 | 62 |
| 季節行事・レクレーション | 8 | 0 | 9 | 0 | 19 | 19 | 16 | 4 | 13 | 0 | 0 | 0 | 88 |
| お誕生会 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 10 |
| 合計 | 15 | 6 | 14 | 8 | 23 | 24 | 24 | 12 | 21 | 5 | 5 | 7 | 164 |

《ふじユニット》

(入浴実施状況：2回/週)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 仰臥位入浴 | 24 | 37 | 40 | 38 | 49 | 39 | 40 | 36 | 28 | 31 | 16 | 25 | 403 |
| 座位入浴 | 15 | 12 | 17 | 17 | 23 | 18 | 15 | 18 | 29 | 30 | 25 | 11 | 230 |
| 自立補助入浴 | 13 | 16 | 23 | 9 | 14 | 24 | 20 | 15 | 11 | 17 | 8 | 7 | 177 |
| 清拭 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 1 | 7 |
| シャワー浴 | 0 | 0 | 1 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 | 8 | 22 |
| 合計 | 52 | 65 | 81 | 69 | 88 | 81 | 75 | 69 | 71 | 81 | 55 | 52 | 839 |

(行事・レク実施状況)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|-----------|----|---|----|---|---|----|----|----|----|----|---|---|-----|
| 外出、買い物、外食 | 0 | 4 | 4 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 |
| 美容、理容 | 5 | 4 | 6 | 4 | 4 | 2 | 7 | 4 | 2 | 6 | 3 | 2 | 49 |
| 季節行事 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 8 | 2 | 6 | 7 | 0 | 0 | 43 |
| お誕生会 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 9 |
| 合計 | 19 | 9 | 12 | 5 | 9 | 10 | 16 | 7 | 9 | 14 | 3 | 2 | 115 |

《いちょうユニット》

(入浴実施状況)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 仰臥位入浴 | 22 | 18 | 24 | 28 | 23 | 20 | 24 | 35 | 34 | 32 | 37 | 25 | 322 |
| 座位入浴 | 32 | 3 | 25 | 21 | 34 | 36 | 26 | 34 | 36 | 35 | 35 | 35 | 352 |
| 自立補助入浴 | 23 | 31 | 24 | 26 | 28 | 23 | 19 | 18 | 17 | 14 | 16 | 16 | 255 |
| 自立入浴 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| シャワー浴 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 合計 | 77 | 52 | 73 | 75 | 86 | 80 | 72 | 87 | 87 | 81 | 88 | 76 | 934 |

(行事・レク実施状況)

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|-----------|----|----|---|---|----|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 美容・理容など | 1 | 3 | 1 | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 23 |
| 外出・外食・買い物 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 季節行事 | 8 | 5 | 0 | 0 | 8 | 0 | 8 | 7 | 8 | 1 | 2 | 0 | 47 |
| お誕生会 | 1 | 4 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 12 |
| 合計 | 10 | 12 | 1 | 3 | 13 | 2 | 11 | 9 | 10 | 3 | 4 | 4 | 82 |

給食栄養状況

栄養ケアマネジメントの実施により、一人ひとりの栄養ケアプランが十分に実施されるよう、他職種協働で取り組みを行い、利用者の個別性に対応している。

栄養ケアマネジメント

| 月 | ケアマネジメント実施数 (人) | 低 リスク | 中 リスク | 高 リスク | リスク 未定 | 合 計 |
|-----|--------------------|----------|----------|----------|-----------|-----|
| 4月 | 29 | 17 | 10 | 2 | 0 | 29 |
| 5月 | 29 | 17 | 10 | 2 | 0 | 29 |
| 6月 | 29 | 16 | 11 | 2 | 0 | 29 |
| 7月 | 29 | 16 | 11 | 2 | 0 | 29 |
| 8月 | 29 | 15 | 12 | 2 | 0 | 29 |
| 9月 | 29 | 15 | 11 | 3 | 0 | 29 |
| 10月 | 29 | 15 | 11 | 3 | 0 | 29 |
| 11月 | 29 | 13 | 14 | 2 | 0 | 29 |
| 12月 | 29 | 15 | 12 | 2 | 0 | 29 |
| 1月 | 29 | 13 | 14 | 2 | 0 | 29 |
| 2月 | 29 | 15 | 11 | 3 | 0 | 29 |
| 3月 | 29 | 13 | 12 | 4 | 0 | 29 |
| 合 計 | 348 | 180 | 139 | 29 | 0 | |
| 月平均 | 29.0 | 15.0 | 11.6 | 2.4 | 0.0 | |

栄養ケアマネジメントによる一人ひとりへの細かいプランを立て実施している。低栄養改善への早期アプローチにて、健康増進に繋げている。

食事の状況

| | 主 食 | | | | | 副 食 | | | | |
|-----|-----|----|----|------|----|-----|----|------|-----|----|
| | 普通 | 握食 | 粥食 | ミキサー | 経管 | 普通 | 刻食 | ミキサー | ソフト | 経管 |
| 居 室 | 3 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| 食 堂 | 10 | 2 | 4 | 2 | 0 | 8 | 8 | 0 | 2 | 0 |
| 合 計 | 13 | 4 | 6 | 3 | 3 | 10 | 11 | 1 | 4 | 3 |

行事食の献立状況

| 月 日 | 行 事 名 | 献 立 |
|-------|----------|--|
| 4/5 | お花見 | 散らし寿司・鶏の唐揚げ・鮭の塩焼き・菜の花のごま和え・煮物・和菓子・果物 |
| 5/1 | 開設記念日 | 赤飯・天ぷら・白和え・潮汁・果物 |
| 5/5 | こどもの日 | オムライス・ビーンズサラダ・コンソメスープ・果物 |
| 7/7 | 七夕 | 七夕素麺・おにぎり・もち米蒸し・小松菜のお浸し・七夕ゼリー |
| 7/25 | 土用の丑の日 | うなぎ散らし・蓮根団子・胡瓜の柚子こしょう和え・すまし汁・果物 |
| 9/18 | 敬老の日 | 赤飯・サバの塩焼き・炊き合わせ・茶碗蒸し・果物 |
| 9/27 | いもたき会 | いもたき・おにぎり・白和え・果物 |
| 10/17 | お祭り | 祝い寿司・かき揚げ・もやしのゆかり和え・茶碗蒸し・果物 |
| 10/31 | ハロウィン | ご飯・グラタン・フレンチサラダ・スナップエンドウの洋風炒め・牛乳 |
| 12/19 | クリスマス会 | 押し寿司・ミートローフ・さつま芋のレモン煮・清汁・クリスマスゼリー |
| 12/31 | 大晦日 | 年越しそば・炒り豆腐・おにぎり・果物 |
| 1/1 | お正月(祝い膳) | 赤飯・ブリの照り焼き・栗きんとん・菊花かぶ・伊達巻・煮物・数の子 柚子おろし・祝かまぼこ・サケマリネ・紅白素麺の清汁・果物 |
| 2/3 | 節分 | 巻寿司・鶏の唐揚げ・切干大根煮・赤だし・たまごボーロ |
| 3/3 | ひなまつり | 菜の花ちらし・炊き合わせ・キャベツのお浸し・のっぺい汁・ひなあられ |

・選択食・・・・・・・・週2回(昼食に実施)

ショートステイふたばの森

総合目標及び課題

利用者及びご家族が安心して在宅生活を継続できるよう、内外部との連携を取り合い支援した。

1.生活相談員

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|-------------------------------|---|
| (1) ショートステイの稼働率の維持・向上のための取り組み | 年間平均稼働率85%を目標とし、維持向上できるように、下記内容に努めた。しかし、平均稼働率84.2%となり、達成は出来なかった。 ① 継続的な利用をしていただけるよう、家族・ケアマネと情報を共有し、利用者本人・家族が安心して利用できるよう努めた。長期間利用がなかった方の利用の再開の際は面接等を行い、ご家族、ケアマネ、各部署と情報を共有し、安心した利用をしていただくことができた。 ② 緊急的な利用者の受け入れについて柔軟に対応できるよう努めた。 ③ 新規利用者の受け入れ時には、綿密な情報収集を行うと共に、説明不足によるトラブルのない様に心がけた。 ④ 施設見学や問い合わせの際は、施設の特徴などを丁寧に説明することで新規の利用につなげることができた。 |

2.介護

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|-------------|---|
| (1) 個別ケアの充実 | ① 利用者個人の尊厳を守り、その人らしい日所生活を送ることができるよう個別性・専門性の高い介護を行い、自立支援介護を行った。 ② 単なるレスパイトの場として捉えることなく、個別に対応したレクリエーション活動を行った。 |

| <p>(2) 統一したサービス支援の提供</p> | <p>① 新しい取り組み開始時には、ユニット内での話し合いの場を設け、業務効率を優先することなく、利用者を最優先に考えた支援を行った。</p> <p>② 介護支援専門員を中心に他職種協働で、本人家族のニーズに応じたサービス計画書を作成し、目標達成の為全職員がチームとなり実践、評価を行った。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|-------------|----|-----|---|-----|---|---|----------|-----|---|-----------|---|---|----------|-----|---|----------------|-------------|---|----------|-----|----|--------|-----|----|---------|---|---|-----|---|--|----|---|---|-------|-----|
| <p>(3) 接遇の共通認識</p> | <p>① 利用者の名前を名字で呼ぶよう気を付けた。</p> <p>② 会話は丁寧語、尊敬語を使用し笑顔を中心掛けた。</p> <p>③ 挨拶はしっかりと利用者の顔を見てすることを心掛けた。</p> <p>④ 「ありがとうございます」の感謝の気持ちを常に持ち利用者とは多く関わった。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(4) 年間諸行事</p> | <table border="1" data-bbox="719 1021 1334 1648"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>行事</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>お花見</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>遠足 (霧の森)</td> <td>1 9</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>バナナ蒸しパン作り</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>カルピス寒天作り</td> <td>1 4</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>スイカ割り大会 夏祭り</td> <td>2 2・5・15</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>敬老ふれあい事業</td> <td>1 2</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>太鼓祭り見学</td> <td>1 6</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>船木小学校訪問</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>新年式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>初詣</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>賀寿の祝い</td> <td>1 4</td> </tr> </tbody> </table> | 月 | 行事 | 実施日 | 4 | お花見 | 5 | 5 | 遠足 (霧の森) | 1 9 | 6 | バナナ蒸しパン作り | 4 | 7 | カルピス寒天作り | 1 4 | 8 | スイカ割り大会 夏祭り | 2 2・5・15 | 9 | 敬老ふれあい事業 | 1 2 | 10 | 太鼓祭り見学 | 1 6 | 12 | 船木小学校訪問 | 6 | 1 | 新年式 | 1 | | 初詣 | 4 | 2 | 賀寿の祝い | 1 4 |
| 月 | 行事 | 実施日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | お花見 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 遠足 (霧の森) | 1 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | バナナ蒸しパン作り | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | カルピス寒天作り | 1 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | スイカ割り大会 夏祭り | 2 2・5・15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 敬老ふれあい事業 | 1 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 太鼓祭り見学 | 1 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 船木小学校訪問 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 新年式 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 初詣 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 賀寿の祝い | 1 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

短期入所生活介護の利用状況

H30.3.31現在

| | | H29. 04 | H29. 05 | H29. 06 | H29. 07 | H29. 08 | H29. 09 | H29. 10 | H29. 11 | H29. 12 | H30. 01 | H30. 02 | H30. 03 | 1日平均 | 合計 |
|------|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|-------|
| 運営日数 | | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 28 | 31 | — | 365 |
| 要支援1 | 計 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 女 | | | | | | | | | | | | | | |
| 要支援2 | 計 | | 5 | | | 2 | 10 | 8 | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 | 0.1 | 35 |
| | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 女 | | 5 | | | 2 | 10 | 8 | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 | 0.1 | 35 |
| 要介護1 | 計 | 20 | 20 | 23 | 31 | 27 | 32 | 32 | 27 | 23 | 31 | 39 | 24 | 0.9 | 329 |
| | 男 | | | 2 | 9 | 6 | 13 | 5 | 5 | 2 | 8 | 9 | | 0.2 | 59 |
| | 女 | 20 | 20 | 21 | 22 | 21 | 19 | 27 | 22 | 21 | 23 | 30 | 24 | 0.7 | 270 |
| 要介護2 | 計 | 111 | 137 | 145 | 134 | 156 | 137 | 145 | 152 | 158 | 178 | 147 | 170 | 4.8 | 1,770 |
| | 男 | 2 | | 14 | 12 | 27 | 5 | 4 | 16 | 24 | 22 | 21 | 32 | 0.5 | 179 |
| | 女 | 109 | 137 | 131 | 122 | 129 | 132 | 141 | 136 | 134 | 156 | 126 | 138 | 4.4 | 1,591 |
| 要介護3 | 計 | 71 | 67 | 77 | 88 | 83 | 81 | 82 | 68 | 63 | 73 | 54 | 68 | 2.4 | 875 |
| | 男 | 20 | 22 | 25 | 22 | 7 | 13 | 23 | 14 | 15 | 15 | 15 | 21 | 0.6 | 212 |
| | 女 | 51 | 45 | 52 | 66 | 76 | 68 | 59 | 54 | 48 | 58 | 39 | 47 | 1.8 | 663 |
| 要介護4 | 計 | 128 | 126 | 140 | 143 | 136 | 131 | 133 | 122 | 134 | 130 | 121 | 147 | 4.4 | 1,591 |
| | 男 | 13 | 17 | 17 | 13 | 32 | 25 | 27 | 34 | 29 | 28 | 29 | 35 | 0.8 | 299 |
| | 女 | 115 | 109 | 123 | 130 | 104 | 106 | 106 | 88 | 105 | 102 | 92 | 112 | 3.5 | 1,292 |
| 要介護5 | 計 | 29 | 29 | 28 | 17 | 21 | 26 | 24 | 23 | 20 | 23 | 36 | 39 | 0.9 | 315 |
| | 男 | 20 | 17 | 19 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 9 | 15 | 0.5 | 185 |
| | 女 | 9 | 12 | 9 | 2 | 6 | 11 | 9 | 8 | 5 | 8 | 27 | 24 | 0.4 | 130 |
| 合計 | 計 | 359 | 384 | 413 | 413 | 425 | 417 | 424 | 394 | 400 | 436 | 399 | 451 | 13.5 | 4,915 |
| | 男 | 55 | 56 | 77 | 71 | 87 | 71 | 74 | 84 | 85 | 88 | 83 | 103 | 2.6 | 934 |
| | 女 | 304 | 328 | 336 | 342 | 338 | 346 | 350 | 310 | 315 | 348 | 316 | 348 | 10.9 | 3,981 |

デイサービスセンターふたばの森

総合目標及び課題

利用者一人ひとりの意思、人格を尊重し利用者の立場に立った指定通所介護事業及び指定介護予防通所事業を実施し、身心機能の維持向上や社会的孤立感の解消、家族の身体的、精神的負担の軽減を図り、利用者の在宅生活支援を目的とした。

1.生活相談員

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|--------------------------|---|
| (1) 稼働率の維持・向上の 為の取り組み | 年間平均稼働率80%の目標に対して77.3%。 ① 平成29年度新規利用者58名、終了者74名。 ② 曜日変更や利用回数の変更等、家族や居宅支援事業所、地域のニーズに応え、利用者に異常が見られた場合は迅速に情報の提供を行った。 ③ 利用者一人ひとりのニーズ及び心身の状態を的確に把握し、地域での暮らしを支える支援を構築することに努めた。 |

2.介護

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|------------------------------|---|
| (1) 介護 ・質の高い介護サービスの 提供 | 昨年から引き続きポイント制度を利用した利用者個別のニーズに対応した個別処遇に重点を置き、「利用者が何かしてもらおうデイサービス」ではなく「自ら楽しみを発見し行動を起こせるデイサービス」と目標とした。 ・食事 食事時の雰囲気気を配り、四季折々に季節感あふれる食事や、行事に伴う献立を提供した。 ・入浴 異常に十分配慮しながら、快適かつ安全に入浴できるように援助を行い、清潔の保持・心身のリフレッシュに努めた。 |

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・排泄 利用者の尊厳に十分配慮しながら、個々のペースに合わせて排泄が気持ちよく行えるよう支援し、同時に健康状態の把握を行った。 ・資質向上 各種研修会に積極的に参加し、知識・技術の向上に努めた。また外部研修等については、部署会にて報告し、職員全体で知識・技術を共有しサービスの質の向上に努めた。 |
|--|--|

3.看護

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|----------|---|
| (1) 健康管理 | ① 利用者の健康状態を観察、把握し健康管理及び健康指導に努めた。また緊急時には家族及び主治医との連携による迅速かつ最善の対応に努めた。 ② 感染症予防の為の適切な対応および対策の徹底に努め感染の拡大を防いだ。 |

4.健康長寿地域拠点作り

平成28年度から新居浜市より受託事業として開始した。

住民が実施主体となって、自治会館等を活用した通いの場を作り、高齢者が健康づくり（PPK体操）や仲間づくりに取り組めるよう技術的な支援をすることを目的とした。

平成29年度は、5拠点1年半の指導を終了し、新たに2拠点開設。

担当自治会一覧

| | |
|----------|--------------------|
| 城主自治会 | (H28. 6月～H29. 12月) |
| 吉岡自治会 | (H28. 6月～H29. 12月) |
| 北内ハイツ自治会 | (H28. 6月～H29. 12月) |
| 篠場自治会 | (H28. 6月～H29. 12月) |
| 篠場団地自治会 | (H28. 9月～H30. 3月) |
| 本郷自治会 | (H28. 10月～) |
| 光明寺自治会 | (H29. 1月～) |
| 七宝台自治会 | (H29. 2月～) |
| 船木上原自治会 | (H30. 8月～) |
| 喜光地西町自治会 | (H30. 11月～) |

5.介護予防教室（元気もりもり教室）

平成29年度より新居浜市高齢者一般介護予防教室を受託し事業を開始した。

一般高齢者65歳以上を対象に、日常生活機能の維持、向上を図ることを目的として、介護予防についての知識の普及や介護予防プログラムの提供を行うとともに、仲間づくりや主体的な行動を行えるよう支援することにより、健康長寿を目指す。

上部東圏域 1クール目（船木校区） 2クール目（泉川校区）

1教室あたり週1回（毎週木曜日）計15回開催し、うち説明会1回、機能評価3回を実施した。

| 回数 | 内容 |
|------|--------------------|
| 1回目 | 開校式 |
| 2回目 | 機能測定① |
| 3回目 | 目標設定・加齢に伴う体の変化について |
| 4回目 | 認知症について |
| 5回目 | 口腔ケア① |
| 6回目 | 栄養食育① |
| 7回目 | 機能測定② |
| 8回目 | 音楽と回想法① |
| 9回目 | 口腔ケア② |
| 10回目 | 栄養食育② |
| 11回目 | 音楽と回想法② |
| 12回目 | 口腔ケア③ |
| 13回目 | 転倒予防について |
| 14回目 | 機能測定③ |
| 15回目 | 閉校式 |

1クール目参加者 35名

2クール目参加者 16名

職員研修参加状況（デイサービスセンターふたばの森）

| 月 | 日 | 内容 | 場所 | 出席者 |
|----|----|-----------------------------|------|--------|
| 7 | 22 | 東予老施協第1回DS直接処遇職員研修会 | 今治 | 看護職員1名 |
| 9 | 15 | 県老施協 防災に関する研究・研修会 | 松山 | 相談員1名 |
| 9 | 27 | 東予老施協 デイサービス管理者研修会 | 四国中央 | 介護職員1名 |
| 10 | 20 | 東予老施協 施設長と防災担当職員等との合同研修会 | 今治 | 相談員1名 |
| 12 | 9 | すみの泉川見守りSOSネットワーク協議会合同先進地研修 | 市内 | 相談員1名 |
| | 22 | 県社協 第2回在宅介護テーマ別講習会 | 松山 | 介護職員1名 |

【平成29年度デイサービスセンター利用状況（月別）】

| | 平成29年 | | | | | | | | | | 平成30年 | | | 合計 |
|--------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 前月末 サービス登録人員 | 93 | 91 | 93 | 88 | 90 | 88 | 89 | 91 | 91 | 87 | 98 | 87 | 1086 | |
| 新規 サービス登録人員 | 18 | 5 | 3 | 3 | 5 | 2 | 3 | 5 | 2 | 3 | 3 | 6 | 58 | |
| 月末 サービス登録人員 | 75 | 93 | 91 | 93 | 88 | 90 | 88 | 89 | 91 | 91 | 87 | 89 | | |
| 月間 運営日数 | 25 | 27 | 26 | 26 | 27 | 26 | 26 | 26 | 25 | 24 | 24 | 27 | 309 | |
| 月間 利用実人員 | 78 | 80 | 80 | 81 | 79 | 80 | 78 | 80 | 82 | 83 | 86 | 84 | 971 | |
| 月間 利用延人員 | 702 | 771 | 760 | 740 | 739 | 669 | 675 | 676 | 636 | 622 | 625 | 741 | 8356 | |
| 一日平均利用人数 | 28.1 | 28.6 | 29.2 | 28.5 | 27.4 | 25.7 | 26.0 | 26.0 | 25.4 | 25.9 | 26.0 | 27.4 | 27.0 | |
| 要支援1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 4 | 5 | 6 | 6 | 5 | 6 | 39 | |
| 要支援2 | 8 | 6 | 6 | 5 | 6 | 6 | 6 | 7 | 8 | 8 | 8 | 7 | 81 | |
| 要介護1 | 25 | 24 | 23 | 23 | 23 | 25 | 23 | 22 | 22 | 21 | 21 | 22 | 274 | |
| 要介護2 | 18 | 19 | 17 | 19 | 19 | 18 | 16 | 17 | 16 | 16 | 16 | 18 | 209 | |
| 要介護3 | 8 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 10 | 10 | 9 | 9 | 7 | 114 | |
| 要介護4 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 | 5 | 6 | 6 | 7 | 9 | 8 | 88 | |
| 要介護5 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 3 | 4 | 4 | 30 | |
| 入浴情報(延べ) | 581 | 669 | 660 | 645 | 625 | 576 | 580 | 590 | 560 | 552 | 546 | 649 | 7233 | |
| 一般浴 | 445 | 514 | 514 | 441 | 436 | 387 | 388 | 413 | 387 | 396 | 387 | 464 | 5172 | |
| リフト浴 | 136 | 155 | 146 | 204 | 189 | 189 | 192 | 177 | 173 | 156 | 159 | 185 | 2061 | |
| 食事情報(延べ) | 700 | 760 | 752 | 740 | 739 | 669 | 675 | 674 | 632 | 622 | 625 | 738 | 8326 | |
| 機能訓練／機能向上 | 249 | 264 | 263 | 257 | 241 | 195 | 206 | 162 | 166 | 184 | 807 | 248 | 3242 | |

※一日平均利用人数:27.0

グループホームふたばの森

総合目標及び課題

利用者ごとの潜在的な能力に働きかけ共同生活内での役割や主体的な活動を支援し認知症状の進行を穏やかにするように努めた。

| 重点目標及び課題 | 成果等 |
|----------------------------|---|
| (1) GH稼働率の維持・向上のための取組 | <p>① 年間を通して稼働率98.2%を目標とし維持・向上できるよう下記の健康管理・事故防止に努めた結果、実稼働率は99.1%だった。</p> <p>② 利用者ごとの摂食量・栄養バランス、水分摂取量が確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援を行い健康管理に努めた。</p> <p>③ 体調悪化徴候時は、早期に受診を行い重篤化の回避に努めた。</p> |
| (2) 認知症ケアの実践（見直し） | <p>利用者ごとの24時間アセスメント・24時間シートを作成し利用者ごとの役割や生活習慣に配慮したケアの提供を行った。</p> |
| (3) 事業運用の安定化（スキルアップ（人材育成）） | <p>① 運用業務・日常業務についてそれぞれの職員が役割と責任を持ち、職員間の連携を図ることで事業運用の安定化をはかった。</p> <p>② 認知症内部研修及びその他の外部研修に参加した。</p> <p>③ 研修に参加した職員が研修で学んだ内容をもとに事業所内で研修を行い専門知識の習得及びスキルアップをはかった。</p> |
| (4) 外出への取組 | <p>① 外食や買い物等、利用者の意向をくみ取り、それに合わせ外出を企画・実行しました。</p> <p>② 定期的に季節行事（花見・紅葉他）、外出・散歩等の機会を設けて行った。</p> |

職員研修参加状況(グループホームふたばの森)

| 月 | 日 | 内容 | 場所 | 出席者 |
|----|-------|-----------------------|-----|--------|
| 4 | 25 | 地域密着型サービス協会総会 | 松山 | 管理者 |
| 5 | 10 | 介護支援専門員更新(専門)研修 | 松山 | 介護職員1名 |
| 6 | 9 | 人材定着・育成・採用セミナー | 松山 | 管理者 |
| 7 | 14 | 愛媛県認知症介護基礎研修 | 松山 | 介護職員2名 |
| 7 | 22~23 | 介護支援専門員更新(専門)研修 | 松山 | 介護職員1名 |
| 7 | 24 | 相互研修事前説明会 | 西条 | 介護職員1名 |
| 8 | 14~15 | 認知症対応型サービス事業管理者研修 | 松山 | 介護職員1名 |
| 9 | 23 | 地域密着型サービス協会合同研修会 | 松前 | 介護職員1名 |
| 11 | 22~16 | 認知症介護実践者研修(第2期) | 松山 | 介護職員1名 |
| 11 | 20 | 認知症ケアレジストリ研究における調査説明会 | 名古屋 | 管理者 |
| 12 | 15 | 認知症介護基礎研修 | 松山 | 介護職員1名 |
| 1 | 17 | 認知症介護実践者研修(第2期)報告会 | 松山 | 介護職員1名 |

GH利用者の概要

(1)利用者の状況

平成30年3月31日現在

保険者別入居状況

| 保険者別 | 男 | 女 | 計 |
|------|---|----|----|
| 新居浜市 | 3 | 15 | 18 |
| 合計 | 3 | 15 | 18 |

在所期間の状況

| 期 間 | 男 | 女 | 計 | 比率(%) |
|-------------|---|----|----|-------|
| 20年以上 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 15年以上～20年未満 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 10年以上～15年未満 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 7年以上～10年未満 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 5年以上～7年未満 | 3 | 8 | 11 | 61.1 |
| 3年以上～5年未満 | 0 | 1 | 1 | 5.6 |
| 1年以上～3年未満 | 0 | 5 | 5 | 27.8 |
| 1年未満 | 0 | 1 | 1 | 5.6 |
| 合 計 | 3 | 15 | 18 | 100.0 |

年齢構成

| 区分 | ～64 | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～84 | 85～89 | 90～94 | 95～ | 合計 | 平均年齢 |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----|------|
| 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 3 | 83.6 |
| 女 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 6 | 0 | 7 | 16 | 88.5 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 7 | 0 | 7 | 19 | 88.7 |

①最高齢者は、男性87歳、女性97歳で、最も若い利用者は、男性80歳、女性77歳である。

要介護度の状況

〔要介護度〕

| 介護度 | 年齢区分 | 自立 | 支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 合計 | 平均 |
|-----|------|----|----|---|---|---|---|---|----|------|
| | 男 性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 3 | 4.33 |
| | 女 性 | 0 | 0 | 0 | 3 | 5 | 3 | 4 | 15 | 3.53 |

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----|---|---|---|---|---|---|---|----|------|
| | 合 計 | 0 | 0 | 0 | 3 | 6 | 3 | 6 | 18 | 3.67 |
| 前年度実績 | | 0 | 0 | 1 | 1 | 9 | 3 | 4 | 18 | 3.39 |

(2)入退居状況

利用者状況

〔月別新規入居者〕

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
| 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |

〔入居前住居〕

| 区分 | 在宅 | 病 院 | | | 介護施設 | | | その他施設 | 合計 |
|----|----|------|------|------|--------|--------|-----------|-------|----|
| | | 一般病棟 | 精神病棟 | 療養病棟 | 介護療養施設 | 老人保健施設 | 特別養護老人ホーム | | |
| 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |

〔新規利用者世帯状況〕

| | | | | | | |
|---|----|----|-------|-------|-----|----|
| | 単身 | 夫婦 | 未婚子同居 | 既婚子同居 | その他 | 合計 |
| 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 女 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 計 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

退居者状況

〔退居理由〕

| | | | | | | |
|---|------|------|----|--------|--------|----|
| | 家庭復帰 | 入院継続 | 転居 | 死亡(施設) | 死亡(病院) | 合計 |
| 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |

〔月別退居者〕

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
| 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |

(3)日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

日常生活動作の状況

[利用者18名]

| 項目 | 動作内容 | 男 | 女 | 計 | 項目 | 動作内容 | 男 | 女 | 計 |
|----|-----------------------|---|---|---|----|------------------------|---|----|----|
| 移動 | 時間がかかっても介助なしに一人で歩く | 1 | 8 | 9 | 入浴 | やや時間がかかっても介助なしに一人でできる | 0 | 0 | 0 |
| | 手を貸してもらするなど一部介助を要する | 1 | 1 | 2 | | 体を洗ってもらするなど一部介助を要する | 1 | 7 | 8 |
| | 全面的に介護を要する | 1 | 6 | 7 | | 全面的に介護を要する | 2 | 8 | 10 |
| 食事 | やや時間がかかっても介助なしに食事する | 1 | 8 | 9 | 着替 | やや時間がかかっても介助なしに一人でできる | 1 | 1 | 2 |
| | おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する | 1 | 3 | 4 | | 袖を通してもらうなど一部介助を要する | 1 | 10 | 11 |
| | 全面的に介護を要する | 1 | 4 | 5 | | 全面的に介護を要する | 1 | 4 | 5 |
| 排泄 | やや時間がかかっても介助なしに一人でできる | 1 | 2 | 3 | 整容 | やや時間がかかっても介助なしに一人でできる | 0 | 2 | 2 |
| | 便器に座らせてもらうなど一部介助を要する | 1 | 8 | 9 | | タオルで顔をふいてもらうなど一部介助を要する | 2 | 8 | 10 |
| | 全面的に介護を要する | 1 | 5 | 6 | | 全面的に介護を要する | 1 | 5 | 6 |

日常生活自立度（寝たきり度）

[利用者18名]

| | | | |
|----------------|--|-------------------------------|---|
| ランク J 生活自立 | 何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 | | |
| | 1 | 交通機関等を利用して外出する。 | 0 |
| | 2 | 隣近所なら外出する。 | 0 |
| ランク A 準寝たきり | 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。 | | |
| | 1 | 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 | 4 |
| | 2 | 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。 | 7 |
| ランク B 寝たきり | 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。 | | |
| | 1 | 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 | 0 |
| | 2 | 介助により車椅子に移乗する。 | 7 |
| ランク C 寝たきり | 一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。 | | |
| | 1 | 自力で寝返りをうつ。 | 0 |
| | 2 | 自力では寝返りもうたない。 | 0 |

認知症老人の日常生活自立度判定

[利用者18名]

| 項目 | 認知症の程度 | |
|------|--|---|
| 正常 | 認知症の症状無し | 0 |
| ランクⅠ | 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。 | 0 |
| ランクⅡ | 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。 | |
| | a 家庭外で上記Ⅱの状態が見られる。 | 0 |
| | b 家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる。 | 0 |
| ランクⅢ | 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。 | |
| | a 日中を中心として、上記Ⅲの状態が見られる。 | 6 |
| | b 夜間を中心として、上記Ⅲの状態が見られる。 | 2 |
| ランクⅣ | 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。 | 8 |
| ランクⅤ | 著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする | 2 |

すべての利用者にランクⅢ以上の認知症状が観察される。

受診状況

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | 月平均 | 1日平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|------|------|
| 受診人数 | 7 | 16 | 14 | 14 | 17 | 13 | 14 | 15 | 13 | 16 | 12 | 15 | 166 | 13.8 | 0.5 |
| 受診回数 | 17 | 29 | 22 | 30 | 26 | 23 | 31 | 29 | 25 | 30 | 25 | 28 | 315 | 26.3 | 0.9 |

入居前のかかりつけ医への受診を継続的に支援している。

入院状況

| 項目/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | 月平均 | 1日平均 |
|------|---|---|----|---|---|---|----|----|----|----|---|---|----|-----|------|
| 実人数 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 4 | 0.3 | 入院人数 |
| 延日数 | 0 | 0 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 16 | 6 | 0 | 44 | 3.7 | |

行事

| 実施月 | 1階ユニット (どんぐり) | 2階ユニット (くるみ) |
|-----|---------------|--------------|
| 4月 | 花見ドライブ | 花見ドライブ |
| 5月 | マイントピア芍薬見物 | マイントピア芍薬見物 |

| | | |
|-----|-----------------|-----------------|
| 6月 | あじさい見物 菖蒲見物 | あじさい見物 菖蒲見物 |
| 7月 | 外食 そうめん流し | 外食 そうめん流し |
| 8月 | 船木ふるさと夏祭り | 元船木夏祭り |
| 9月 | いもたき 外食 | いもたき |
| 10月 | 太鼓台見物 | 太鼓台見物 |
| 11月 | 紅葉見物 | 紅葉見物 |
| 12月 | クリスマス 外食 餅つき | クリスマス 外食 餅つき |
| 1月 | 初詣 | 初詣 |
| 2月 | 節分 | 節分 |
| 3月 | 外食 | 外食 |